

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO. **24**

凡例

◎常設展、常設特別展、企画展の出品作品および購入作品、
寄贈作品のデータは、原則として以下のとおりに記した。

作家名

作品名

制作年

技法、素材

寸法（縦×横×奥行、高さはH、直径はΦで表示）

所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展、常設特別展と
購入作品、寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

目次

	常設展		作品管理
004	第1期常設展示	032	収集作品一覧
006	第2期常設展示	036	作品貸出実績
007	第3期常設展示		
009	高橋節郎館 第1期常設展示		教育・普及
011	高橋節郎館 第2期常設展示	040	講演会、シンポジウム、講座、 解説会、ギャラリートーク、ワークショップ コンサート、映画上映会、パフォーマンス等
	常設特別展		
013	豊田市美術館リニューアルオープン記念コレクション展 世界を開くのは誰だ？	041	アウトリーチ活動 ミュージアムフェスタ 庭園活用事業 作品ガイドボランティア 出版、ビデオ制作
	企画展		
019	クリムト展 ウィーンと日本1900		小・中学校美術館学習 研修会 博物館実習
024	岡崎乾二郎－視覚のカイソウ	042	
			利用実績
		043	観覧者数 ギャラリー利用状況
		044	ライブラリー利用状況 レストラン等付属施設利用状況
			組織
		045	組織図
		046	美術館運営協議会 美術品収集委員会 作品ガイドボランティア
			関係法規
		047	豊田市美術館条例
		048	豊田市美術館管理規則
		051	沿革

第1期常設展示	2019年6月1日 [土]ー 6月30日 [日] 26日間 展示室6、7
--------------------	---

展示室6 01 小堀 四郎 パリ 郊外 1929年 油彩、カンヴァス 46.2×53.7cm 02 小堀 四郎 イタリアの少年 1929年 油彩、カンヴァス 117.0×64.5cm 03 小堀 四郎 修道士の顔 1930年 油彩、カンヴァスボード 40.8×33.0cm 04 小堀 四郎 想ひ 1931年 油彩、カンヴァスボード 55.0×46.1cm 05 小堀 四郎 厨房（アトリエの一隅） 1931年 油彩、カンヴァスボード 55.0×46.1cm 06 小堀 四郎 アトリエにて 1931年 油彩、カンヴァス 73.5×54.2cm 07 小堀 四郎 黄衣の女 1932年 油彩、カンヴァス 162.2×114.0cm 08 小堀 四郎 赤衣の女 1932年 油彩、カンヴァスボード 45.5×38.0cm 09 小堀 四郎 バルコン 1932年頃 油彩、カンヴァス 46.0×37.6cm 10 小堀 四郎 伊太利の女Ⅰ 1932年頃 パステル、紙 32.5×32.7cm 11 小堀 四郎 伊太利の女Ⅱ 1932年 パステル、紙 32.5×32.7cm 12 小堀 四郎 アトリエの一隅 1932-33年頃 パステル、紙 32.5×32.7cm 展示室7 13 宮脇 晴 自画像（17才） 1919年 油彩、カンヴァス 45.5×33.3cm 14 宮脇 晴 えりまきの少女 1920年 油彩、カンヴァス 45.6×33.2cm 15 宮脇 晴 薮の道 1921年 油彩、カンヴァス 45.5×37.9cm 16 宮脇 晴 ボタン 1921年 油彩、カンヴァス 45.5×37.9cm 17 宮脇 晴 自画像 1921年 鉛筆、紙 38.5×29.1cm 18 宮脇 晴 自画像 1921年頃 鉛筆、紙 38.5×29.3cm 19 宮脇 晴 風景 大野川 1922年 油彩、カンヴァス 38.3×45.5cm 20 宮脇 晴 少女 セーラーえり 1922年 鉛筆、紙 47.3×31.3cm 21 宮脇 晴 自画像 1922年 木炭、紙 46.9×31.1cm 22 宮脇 晴 少女横顔（着物） 1923年 色鉛筆、紙 37.1×28.1cm 23 宮脇 晴 母の像 1923年 木炭、紙 42.9×31.5cm 24 宮脇 綾子 鷹 1950年 アブリケ 43.8×50.5cm 25 宮脇 綾子 めおと蟹 1963年 アブリケ 54.5×37.5cm 26 宮脇 綾子 長茄子 1964年 アブリケ 52.5×34.7cm 27 宮脇 綾子 夏水仙 1964年 アブリケ 43.0×27.5cm 28 宮脇 綾子 かやつり草 1964年 アブリケ 60.0×30.0cm 29 宮脇 綾子 れんこん 1968年 アブリケ 30.2×38.1cm 30 宮脇 綾子 ひなげし 1969年 アブリケ 71.9×90.0cm 31 宮脇 綾子 魚二匹 1970年 アブリケ 36.0×68.7cm 32 宮脇 綾子 さしみを取ったあとのかれい 1970年 アブリケ 37.0×22.5cm 33 宮脇 綾子 しゃけ 1973年 アブリケ 95.6×32.7cm 34 宮脇 綾子 花になったふきのとう 1975年 アブリケ 59.5×29.5cm

35

宮脇 綾子
どくだみ
1975年
アブリケ
36.0×34.0cm

36

宮脇 綾子
かぶの花
1976年
アブリケ
108.3×57.2cm

37

宮脇 綾子
鯉の裏
1977年
アブリケ
47.5×34.5cm

38

宮脇 綾子
京人参
1977年
アブリケ
60.5×36.5cm

39

宮脇 綾子
枯れた枝豆
1978年
アブリケ
46.5×34.0cm

40

宮脇 綾子
はもの干もの
1978年
アブリケ
75.5×31.0cm

41

宮脇 綾子
すいかの切り口
1978年
アブリケ
43.8×36.2cm

42

宮脇 綾子
枝のついた柿
1979年
アブリケ
36.0×59.5cm

43

宮脇 綾子
縞のひょうたん
1980年
アブリケ

60.0×30.0cm

44

宮脇 綾子
しゃこ二匹
1981年
アブリケ
27.3×24.3cm35.8×56.0cm

45

宮脇 綾子
華
1985年
アブリケ
44.0×56.8cm

46

宮脇 綾子
ひもと遊ぶ
1986年
アブリケ
33.6×33.6cm

47

宮脇 綾子
鯖の干物
1986年
アブリケ
56.0×44.0cm

48

宮脇 綾子
かぼちゃ
1987年
アブリケ
35.5×53.0cm

第2期常設展示

2019年7月23日〔火〕ー 10月14日〔月・祝〕（10月12日は臨時休館）
74日間
展示室5

展示室5

01

今村 紫紅
秋風五丈原
1907年
膠彩、絹布
165.0×112.4cm

02

今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

03

岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm

04

国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

05

黒田 辰秋
拭漆櫨八角重菓子器
1936年
漆、ケヤキ
25.4×28.5cm、Φ28.5cm

06

黒田 辰秋
赤漆捻紋蓋物
1949年
漆、ヒノキ
19.6×23.2×20.8cm

07

黒田 辰秋
拭漆柘葡萄盃飾筐
1967年頃
漆、トチ
17.8×27.6×12.0cm

08

黒田 辰秋
耀貝螺鈿總張飾手筥
1974年頃
漆、鮑貝、ヒノキ
18.4×30.5×15.5cm

09

小堀 四郎
想ひ

1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

10

下村 観山
美人と舍利
1909年
膠彩、絹布
各126.0×50.7cm（双幅）

11

宮脇 晴
ボタン
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

12

宮脇 綾子
藍型染綴じ合せ壁掛
1973年
アブリケ
189.5×178.0cm

13

コンスタンティン・ブランクーシ
眠る幼児
1907年（1960/62年铸造）
ブロンズ
10.6×16.3×14.2cm

14

コンスタンティン・ブランクーシ
雄鶏
1924年（1972年铸造）
ブロンズ
92.4×10.5×45.0cm

15

コンスタンティン・ブランクーシ
若い男のトルソ II
1924年（1973年铸造）
ブロンズ
41.7×27.6×13.9cm

16

サルバドール・ダリ
皿のない二つの目玉焼きを背に乘坐、ポルト
ガルパンのかけらを犯そうとしている平凡な
フランスパン
1932年
油彩、板
16.0×22.0cm

17

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

18

オスカー・ココシュカ
コロナ I
1918年
リトグラフ、チョーク、紙
55.7×40.3cm

19

オスカー・ココシュカ
コロナ II
1918年
リトグラフ、チョーク、紙
60.6×47.0cm

20

ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

21

エゴン・シーレ
男性裸像（自画像）I
1912年
リトグラフ、紙
44.8×40.0cm

22

エゴン・シーレ
しゃがむ女
1914年（1922年刷）
ドライポイント、紙
48.3×32.2cm

23

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

24

エゴン・シーレ
座る少女：シュテファニー・グリュンヴァルト
ト
1918年
クレヨン、紙
47.0×30.1cm

25

エゴン・シーレ
少女
1918年（1922年刷）
リトグラフ、紙
21.1×37.3cm

26

イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年

第3期常設展示

2019年11月23日 [土]ー 2020年2月24日 [月・祝]

75日間

展示室5-7

展示室5

01

李 禹煥

風より

1985年

油彩、岩絵具、カンヴァス

227.0×182.0cm

02

イヴ・タンギー

失われた鐘

1929年

油彩、カンヴァス

64.2×53.2cm

03

樋田 伸也

通り過ぎた風景（山々）

1999年

油彩、カンヴァス

182.0×259.0cm

04

鳥海 青児

瀬戸の山

1941年頃

油彩、カンヴァス

60.6×92.5cm

05

坂本 繁二郎

ポルテ・シャンチー

1922年

油彩、カンヴァス

31.9×40.9cm

06

藤田 嗣治

キヤンボシヤ平原

1943年

油彩、カンヴァス

40.8×53.0cm

07

梅原 龍三郎

少女アニーン

1908年

油彩、カンヴァス

41.0×32.8cm

08

前田 寛治

I 子像

1928年

油彩、カンヴァス

90.6×72.8cm

09

藤田 嗣治

美しいスペイン女

1949年

油彩、カンヴァス

76.0×63.5cm

10

オスカー・ココシュカ

絵筆を持つ自画像

1914年

油彩、カンヴァス

82.3×66.0cm

11

グスタフ・クリムト

オイゲニア・プリマフェージの肖像

1913/14年

油彩、カンヴァス

140.0×85.0cm

12

エゴン・シーレ

カール・グリュンヴァルトの肖像

1917年

油彩、カンヴァス

140.7×110.2cm

13

小杉 放庵

老君出関

1929年

墨、膠彩、絹布

127.7×36.0cm

14

小林 古徑

羅浮仙

1920年

膠彩、紙

150.0×48.0cm

15

前田 青邨

二日月

1946年

墨、膠彩、紙

79.5×109.0cm

16

速水 御舟

鶏

1925年

膠彩、絹布

126.0×43.2cm

17

速水 御舟

菊に猫

1922年

膠彩、絹布

130.6×50.1cm

18

竹内 栖鳳

獅子巖壁

1904年頃

墨、金箔、紙

各170.0×360.0cm（六曲一双屏風）

展示室6

19

小堀 四郎

ドーミエ作《洗濯女》の模写

1929年

油彩、板

51.3×35.2cm

20

小堀 四郎

ドーミエ作《クリスパンとスキヤパン》の模写

1932年

油彩、カンヴァス

60.3×82.2cm

21

小堀 四郎

パロー街の夕暮れ

1932年

油彩、カンヴァス

114.0×162.5cm

22

小堀 四郎

人生とは

1982年

油彩、カンヴァス

162.5×130.5cm

23

小堀 四郎

恐山の月

1975年

油彩、カンヴァス

72.7×91.0cm

24

小堀 四郎

十三湖の月

1978年

油彩、カンヴァス

112.4×162.0cm

25

小堀 四郎

佐渡の百萬遍

1967年

油彩、カンヴァス

65.2×91.5cm

26

小堀 四郎

風雨波濤

1968年

油彩、カンヴァス

162.8×97.8cm

27

小堀 四郎

津軽の海

1958年

パステル、紙

19.7×33.9cm

28

小堀 四郎

能登の海

1972年頃

色鉛筆、インク、紙

14.8×20.7cm

展示室7

29

宮脇 晴

少女のいる風景 松の道

1921年

油彩、カンヴァス

37.9×45.5cm

30

宮脇 晴

やぶの路

1921年

油彩、カンヴァス

33.3×45.5cm

31

宮脇 晴

仲田風景

1922年頃

油彩、カンヴァス

60.7×68.3cm

32

宮脇 晴

柿

1929年頃

油彩、カンヴァス

37.9×45.5cm

33

宮脇 綾子

干柿

1955年

アブリケ

59.3×89.5cm

34

宮脇 綾子

かれい

1955年

アブリケ
35.0×43.0cm

35
宮脇 綾子
甘鯛
1960年
アブリケ
37.5×51.0cm

36
宮脇 綾子
メキシコの鳥
1962年
アブリケ
75.0×112.0cm

37
宮脇 綾子
黄色の魚たち
1974年
アブリケ
27.0×24.0cm

38
宮脇 綾子
小鯛の干もの
1978年
アブリケ
81.3×31.0cm

39
宮脇 綾子
ガラス瓶の中の椿
1979年
アブリケ
32.7×25.8cm

40
宮脇 綾子
吊った干しえび
1983年
アブリケ
74.2×56.0cm

高橋節郎館 第1期常設展示	2019年6月1日〔火〕－10月14日〔月・祝〕（7月1日－22日は休館、10月12日は臨時休館）
	100日間
	高橋節郎館

01 高橋 節郎 夢・太古の星座 1995年 鎗金、箔押、螺鈿、堆朱 176.0×86.0cm	10 高橋 節郎 山脈 1989年 墨、水彩、紙 91.0×181.0cm	19 高橋 節郎 層煙 1962年 モノタイプ（版画）、漆、紙 119.4×94.7cm	27 高橋 節郎 花器百態 5 1950年代 陶胎漆器 10.3×9.5×26.5cm
02 高橋 節郎 夢・縄文の星座 1996年 鎗金、箔押、螺鈿、堆朱 176.0×86.0cm	11 高橋 節郎 雨上がる 制作年不詳 墨、水彩、紙 52.7×94.0cm	20 高橋 節郎 流雲 1962年 モノタイプ（版画）、漆、紙 119.3×95.0cm	28 高橋 節郎 花の星座 1949年 彩研出蒔絵、アルミニウム合金板 41.9×110.4cm
03 高橋 節郎 古墳映像 1976年 鎗金、螺鈿 175.5×173.2cm	12 高橋 節郎 明けゆく山湖 制作年不詳 墨、水彩、紙 45.4×46.2cm	21 高橋 節郎 化石の森 1996年 木芯乾漆 60.0×47.0×18.0cm	29 高橋 節郎 アネモネ 1969年 鉛筆、水彩、紙 37.9×53.8cm
04 高橋 節郎 星座創記 1975年 鎗金 175.9×173.0cm	13 高橋 節郎 童子神 1995年 木芯乾漆 322.0×146.0cm、Φ60.0cm	22 高橋 節郎 森神 1995年 木芯乾漆 56.0×78.0×12.0cm	30 高橋 節郎 花天 1990年 鎗金、螺鈿、堆朱 90.7×116.6cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
05 高橋 節郎 古墳借景 1978年 鎗金、螺鈿 176.0×170.0cm	14 高橋 節郎 花晨 制作年不詳 鎗金 21.3×27.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵	23 高橋 節郎 森魂 1997年 木芯乾漆 37.0×97.0×20.0cm	31 高橋 節郎 樹下小憩 1980年 鎗金、螺鈿 120.0×87.3cm
06 高橋 節郎 遠森の記 1974年 鎗金 175.8×163.4cm	15 高橋 節郎 型 1966年 モノタイプ（版画）、漆、紙 55.7×82.7cm	24 高橋 節郎 地久大恵 9 1993年 木芯乾漆 61.0×13.0×41.0cm	32 高橋 節郎 婦人像 A 1955-64年 彩漆絵 Φ27.3cm
07 高橋 節郎 星座回帰 1986年 鎗金、螺鈿、堆朱 176.7×173.7cm	16 高橋 節郎 触 1975年 モノタイプ（版画）、漆、紙 55.8×82.6cm	25 高橋 節郎 乾漆壺 11 1989年 乾漆 50.8cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵	33 高橋 節郎 酒場 1955-64年 彩漆絵 Φ27.2cm
08 高橋 節郎 蜃気楼 1960年 鎗金、彩錆絵、螺鈿 197.5×182.0cm	17 高橋 節郎 望 1975年 モノタイプ（版画）、漆、紙 82.6×56.1cm	26 高橋 節郎 花器百態 4 1950年代 陶胎漆器 14.5×25.5×14.5cm	34 高橋 節郎 都会の朝 制作年不詳 モノタイプ（版画）、漆、紙 41.0×33.0cm
09 高橋 節郎 悠久の記 1971年 鎗金、彩錆絵	18 高橋 節郎		35 高橋 節郎 円の中のさくらんぼ（薫風） 1987年

鎗金、螺鈿、堆朱
1.3cm×Φ41.3cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

36
高橋 節郎
二等辺三角水盤 1
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×30.0cm

37
高橋 節郎
二等辺三角水盤 2
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×35.0cm

38
高橋 節郎
鎗金四方盆 花
1994年
蒔絵
3.0×23.0×23.0cm

39
高橋 節郎
飾盆 風信子
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

40
高橋 節郎
飾盆 果物
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

41
高橋 節郎
飾盆 百合
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

42
高橋 節郎
花
1993年
墨、水彩、紙
60.0×45.0cm

43
高橋 節郎
フルート：銀河
2001年
プラチナ箔みだれ押し
67.0×Φ2.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

44
高橋 節郎
フルート：金河
2001年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
67.0×Φ2.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

45
高橋 節郎
ハーブ：銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

46
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

47
高橋 節郎
クラリネット：ペガ
2005年
プラチナ箔みだれ押し
68.3×Φ7.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

48
高橋 節郎
クラリネット：アルタイ
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
68.2×Φ7.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

49
高橋 節郎
クラリネットケース
2005年
プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

50
高橋 節郎
クラリネットケース
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

51
高橋 節郎
フルートケース
2003年
プラチナ箔みだれ押し
5.0×39.5×9.1cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

52
高橋 節郎
フルートケース
2003年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
5.0×39.5×9.1cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

01 高橋 節郎 遥かなる郷愁 1956年 鎗金 157.5×109.0cm 寄託作品	1971年頃 鉛筆、紙 182.0×182.8cm	18 高橋 節郎 日月の筥～月 制作年不詳 呂色塗、蒔絵 14.0×50.5×25.0cm	27.3×10.5×9.0cm
02 高橋 節郎 古墳悠悠 1985年 鎗金、螺鈿、堆朱 176.3×173.0cm	10 高橋 節郎 断層 A 1961年 モノタイプ（版画）、漆、紙 82.3×56.0cm	19 高橋 節郎 日月の筥～日 制作年不詳 呂色塗、蒔絵 13.5×44.5×25.5cm	27 高橋 節郎 三角ユニット花器 I 黄 1950年代 木胎漆器 27.3×10.5×9.0cm
03 高橋 節郎 天宙の記 1972年 鎗金 182.0×182.8cm	11 高橋 節郎 地層 A 制作年不詳 モノタイプ（版画）、漆、紙 62.8×56.0cm	20 高橋 節郎 昆蟲記 I 1989年 染付、陶器 1.5×27.0×34.8cm	28 高橋 節郎 三角ユニット花器 I 白 1950年代 木胎漆器 27.3×10.5×9.0cm
04 高橋 節郎 古墳群映 1977年 鎗金、螺鈿 182.0×172.0cm	12 高橋 節郎 童子神 1995年 木芯乾漆 322.0×146.0cm、Φ60.0cm	21 高橋 節郎 昆蟲記 II 1989年 染付、陶器 1.3×27.0×35.0cm	29 高橋 節郎 三角ユニット花器 I 赤 1 1950年代 木胎漆器 27.3×10.5×9.0cm
05 高橋 節郎 断層 1962年 朱叩き塗 188.1×182.8cm	13 高橋 節郎 ニース旧市街 制作年不詳 水彩、墨、紙 31.0×11.5cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	22 高橋 節郎 昆蟲記 III 1989年 染付、陶器 1.1×28.2×32.2cm	30 高橋 節郎 乾漆壺 2 1989年 乾漆 59.4cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵
06 高橋 節郎 化石の年輪 1965年 鎗金、彩錆絵 182.8×182.6cm	14 高橋 節郎 化石 1963年 彩錆絵 180.0×150.0cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	23 高橋 節郎 昆蟲記 VII 1989年 染付、陶器 1.4×27.0×35.2cm	31 高橋 節郎 乾漆壺 20 1989年 乾漆 40.6cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵
07 高橋 節郎 杉の木の寓話 1959年 鎗金、螺鈿 121.4×243.2cm	15 高橋 節郎 万化 1991年 鎗金、螺鈿、堆朱 95.7×116.7cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	24 高橋 節郎 昆蟲記 VIII 1989年 染付、陶器 1.1×32.3×28.0cm	32 高橋 節郎 サーカスの女 1963年 エッチング、紙 18.0×14.0cm
08 高橋 節郎 星座物語 1994年 鎗金 176.0×173.0cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	16 高橋 節郎 化石群 1967年 鎗金、彩錆絵 92.1×116.6×0.4cm	25 高橋 節郎 昆蟲記 IX 1989年 染付、陶器 1.1×32.3×28.1cm	33 高橋 節郎 獅子舞 1964年 エッチング、紙 15.3×15.0cm
09 高橋 節郎 天宙の記（下絵）	17 高橋 節郎 海層 1970年 鎗金、彩錆絵 115.0×90.8cm	26 高橋 節郎 三角ユニット花器 I 黒 1 1950年代 木胎漆器	34 高橋 節郎 風船 1959年 エッチング、紙 18.0×12.0cm

35
高橋 節郎
青い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.7×0.4cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

36
高橋 節郎
赤い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.8×2.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

37
高橋 節郎
踊り
1954年
鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板
121.5×84.8cm

38
高橋 節郎
長方形プレート 黒
制作年不詳
化学塗料、鉄
2.5×29.5×44.5cm

39
高橋 節郎
長方形プレート 白
制作年不詳
化学塗料、鉄
31.0×61.0cm

40
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス カーマインレッド1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
2.8×13.9×11.6cm

41
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス マルーン1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.2×13.9×11.6cm

42
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス アイボリーブラック
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.2×11.8cm

43
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス エメラルドグリーン

1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.1×11.8cm

44
高橋 節郎
エッグスタンド レッド
1953年
化学塗料、針金
14.5×6.2×5.8cm

45
高橋 節郎
エッグスタンド グレー
1953年
化学塗料、針金
14.2×8.6×6.1cm

46
高橋 節郎
エッグスタンド ブラウン
1953年
化学塗料、針金
14.0×6.0×5.0cm

47
高橋 節郎
灰皿：シルクハット バイオレット
1953年
化学塗料、鉄
7.6×12.3×10.5cm

48
高橋 節郎
灰皿：シルクハット レモン
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.6cm

49
高橋 節郎
灰皿：シルクハット レッド
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.2cm

50
高橋 節郎
地平線の見える静物
1965年
鎗金
37.0×44.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

51
高橋 節郎
ハーブ：銀河賛奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

52
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

豊田市美術館リニューアルオープン記念コレクション展 世界を開くのは誰だ？

2019年6月1日 [土]ー 6月30日 [日]

26日間

展示室1-4、8

改修工事のため休館していた豊田市美術館は、2019年6月1日、新たな一歩を踏み出した。このリニューアルオープンを記念して、当館コレクションで構成する大規模な展覧会「世界を開くのは誰だ？」を開催した。本展では「世界を開く」をキーワードに、この大きな課題に挑む表現の数々を4つのテーマに分けて紹介。美術館活動の源であるコレクションの中から、選りすぐりの名品をはじめ、新収蔵品もあわせた約150点を全館にて展示した。

私たちの世界を可能性に満ちた方向へと開いていくこと。これは美術が追い求めてきた大きなテーマである。私たちが知らないこと、あるいは身近にありながら気づかないものなどを、さまざまな角度から照らし出し、人々を取り巻く世界を新たなフィールドへと拡張してくれるのが、美術の重要な力なのである。ただし忘れてはいけないのは、美術が世界を開くには、アーティストの力のみでは困難であるということである。世界を開く糸口は、アーティストがつくりだす作品と鑑賞者が積極的に交流するなかで、生じるものといえる。会場で作品とじっくり向き合い、思いをめぐらせ対話を重ねることで、はじめて世界は開かれていくことを、この展覧会では美術館から鑑賞者へのメッセージとした。



チラシ

観覧料: 一般300円 [250円] / 高大学生200円 [150円] / 中学生以下無料

※[]内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生、及び豊田市内在住の75才以上は無料 [要証明]

主催: 豊田市美術館

出品点数: 141点

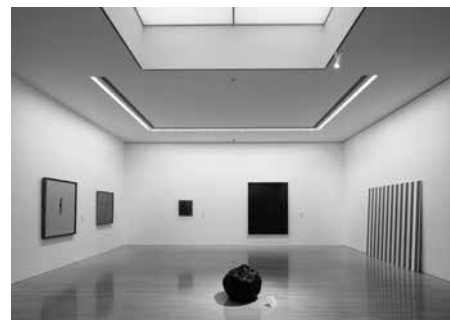
観覧者数: 15,579人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

■ リニューアル記念イベント

「谷口吉生ー美術館を語る」

出演: 谷口吉生 (建築家)

聞き手: 村田真宏 (豊田市美術館館長)

日時: 6月15日 [土] 午後2時ー4時

会場: 講堂

■ 学芸員によるギャラリートーク

日時: 6月22日 [土]、6月29日 [土] 午後3時ー

■ 作品ガイドボランティアによるギャラリートัวร์

木曜日を除く毎日午後2時ー

(土・日曜日は午前11時ー、午後2時ー)

印刷物:

ポスター: B2判

チラシ: A3判 / 観音開き

作品リスト: A3判 / ニつ折り

グラフィックデザイン: 川村格夫

作品展示: ヤマトグローバルロジスティクス
ジャパン株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタジオ

学芸担当: 都筑正敏、北谷正雄

庶務担当: 松下広江、塚田恵理子

01
塩田 千春
不在との対話
2009年
ドレス、紐
サイズ可変

02
加藤 泉
無題
2006年
油彩、カンヴァス
194.0×162.0cm

03
メダルド・ロッシ
門番女
1883-84年
ブロンズ
38.0×35.0×16.0cm

04
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

05
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

06
ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0cm

07
エドヴァルト・ムンク
接吻
1895年
エッチング、ドライポイント、紙
32.8×26.3cm

08
エドヴァルト・ムンク
魅惑 I
1896年
リトグラフ、紙
47.2×35.8cm

09
梅原 龍三郎
少女アニー
1908年
油彩、カンヴァス

41.0×32.8cm

10
前田 寛治
I 子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8cm

11
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5cm

12
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

13
熊谷 守一
裸婦
1961年
油彩、カンヴァス
52.2×40.2cm

14
熊谷 守一
裸婦
1960年
油彩、板
33.2×24.1cm
寄託作品

15
岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm

16
横山 大観
達磨
1907年
膠彩、絹布
148.2×57.2cm

17
村上 華岳
瞻部樹下悉達太子禪定之図
1933年
墨、膠彩、紙
67.3×31.7cm

18
安田 靱彦

波上詒光
1942年
膠彩、紙
151.0×56.0cm

19
高松 次郎
赤ん坊の影No.122
1965年
ラッカー、カンヴァス
182.0×227.0cm

20
ミケランジェロ・ピストレット
窃視者（M・ピストレットとV・ピサーニ）
1962,72年
アクリル、ステンレス、薄葉紙
120.0×230.0cm

21
ミヤギフトシ
花の名前
2015年
ビデオ
20分59秒

22
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

23
森村 泰昌
セルフポートレイト 駒場のマリリン
1995/2008年
ゼラチンシルバープリント
137.0×137.0cm

24
森村 泰昌
セルフポートレイト（モノクロ） ノマリリン・モンローとしての私
1996年
ゼラチンシルバープリント
100.0×50.0cm
寄託作品

25
イケムラレイコ
グリアーノの丘の上から
1999年
油彩、カンヴァス
130.7×90.2cm

26
坂本 夏子
Tiles, Shower
2006年
油彩、カンヴァス

227.3×181.8cm

27
村瀬 恭子
Guru-guru
2002年
油彩、綿布
70.0×61.0cm

28
村瀬 恭子
Goodbye
2007年
油彩、色鉛筆、綿布
140.0×120.0cm

29
森 千裕
Headache（ナイン）
2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm

30
森 千裕
Headache（ナイン）
2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm

31
森 千裕
Toothache（サイン）
2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm

32
森 千裕
Toothache（サイン）
2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm

33
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0cm

34
フランシス・ベーコン
スフィンクス
1953年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

35
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物

1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3cm

36
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

37
アリギエロ・ボエッティ
ONONIMO
1972-73年
インク、紙
各70.0×100.0cm（11枚組）

38
アリギエロ・ボエッティ
ALIGHIEROBOETTI
1975年
インク、紙
70.0×100.0cm

39
ローマン・オバルカ
オバルカ1965/1-∞ ティテイル 2601104-
2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
196.5×136.0cm

40
ローマン・オバルカ
オバルカ1965/1-∞ ティテイル 3395602-
3411010
1981年
アクリル、カンヴァス
196.5×135.0cm

41
ローマン・オバルカ
オバルカ1965/1-∞ ティテイル 4968512-
4988005
1994年
アクリル、カンヴァス
196.5×135.5cm

42
草間 彌生
No.AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4cm

43
白髪 一雄
無題
1959年
油彩、カンヴァス

182.0×272.8cm

44
石原 友明
I.S.M. (H)
1989年
発泡スチロール、牛革
115.0×110.0×180.0cm

45
長谷川 繁
タイトル無し
1998年
油彩、綿布
303.0×193.0cm

46
野村 仁
Photobook又は視覚のブラウン運動
1972-74年
写真製本
各25.3×22.3×3.0cm（26冊）

47
日高 理恵子
樹を見上げてⅠ
1989年
岩絵具、紙
220.0×360.0cm

48
日高 理恵子
樹を見上げてⅡ
1989年
岩絵具、紙
220.0×360.0cm

49
松江 泰治
ANDES 06335
2008年
タイプCプリント
133.6×188.3cm（額装サイズ）

50
松江 泰治
MAINE 23644
2008年
タイプCプリント
133.6×188.3cm（額装サイズ）

51
丸山 直文
appear
2008年
アクリル、綿布
183.0×366.0cm

52
中村 一美
丹沢

1983年
油彩、カンヴァス
223.5×112.0cm

53
中村 一美
空木Ⅱ
1984年
油彩、カンヴァス
227.0×182.0cm

54
中村 一美
赤紫鉱
1987年
油彩、ウレタン樹脂、綿布
260.0×500.0cm

55
会田 誠
あぜ道
1991年
岩絵具、アクリル、和紙
73.0×52.0cm

56
サルバドール・ダリ
皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ポルト
ガルパンのかけらを犯そうとしている平凡な
フランスパン
1932年
油彩、板
16.0×22.0cm

57
菱田 春草
春色
1905年
膠彩、絹布
70.9×49.4cm

58
菱田 春草
鹿
1909年
膠彩、絹布
128.0×51.0cm

59
徳岡 神泉
柳
1953年
膠彩、紙
57.2×85.3cm

60
小茂田 青樹
芍薬
1925年
膠彩、絹布
127.0×43.0cm

61
村上 華岳
牡丹花遊蝶之図
1936年
膠彩、紙
132.1×31.4cm

62
安田 靱彦
梅花定窯瓶
1963年
膠彩、紙
53.0×45.5cm

63
速水 御舟
果物
1920年
膠彩、絹布
26.4×23.9cm

64
中村 彝
静物
1917年頃
油彩、カンヴァス
39.5×52.0cm

65
中村 彝
髑髏のある静物
1923年
油彩、カンヴァスボード
32.5×23.7cm

66
熊谷 守一
揚羽蝶
1966年
油彩、板
22.4×15.5cm
寄託作品

67
熊谷 守一
ざくろ
1960-70年
油彩、板
24.2×33.3cm
寄託作品

68
熊谷 守一
シヂミ蝶
1958年
油彩、板
23.6×32.8cm

69
熊谷 守一
あけぼの

1970年
油彩、板
15.5×22.8cm
寄託作品

70
熊谷 守一
干大根
1971年
油彩、板
24.2×33.2cm
寄託作品

71
熊谷 守一
赤蟻
1971年
油彩、板
24.2×33.3cm
寄託作品

72
堀 浩哉
池へ-81.4
1981年
アクリル、カンヴァス
227.0×182.0cm

73
中西 夏之
作品-たとえば波打ち際にて I
1985年
油彩、カンヴァス
194.0×142.0cm

74
李 禹煥
風と共に
1987年
油彩、岩絵具、カンヴァス
227.0×182.0cm

75
佐川 晃司
半面性の樹塊 No.19
1995年
油彩、カンヴァス
245.0×194.0cm

76
城戸 保
内と外の風景
2014年
タイプCプリント
119.0×150.0cm

77
櫃田 伸也
通り過ぎた風景（山々）
1999年
油彩、カンヴァス

182.0×259.0cm

78
秋吉 風人
A Certain Aspect (Mountain 1)
2003年
油彩、板
45.0×45.0×23.0cm

79
秋吉 風人
A Certain Aspect (Mountain 2)
2003年
油彩、板
45.0×45.0×21.0cm

80
吉本 作次
三本の木と聖人の墓
2012-14年
油彩、木炭、鉛筆、カンヴァス
197.0×291.0cm

81
彦坂 尚嘉
FLOOR EVENT No.3
1972,2007年
ラムダプリント
各50.8×61.2cm (22枚)

82
金氏 徹平
ホワイト・ディスチャージ（建物のように積み
あげたもの #10）
2010年
プラスチック製品、絵具、樹脂、机
181.0×176.0×75.0cm

83
堀内 正和
D氏の骨ぬきサイコロ
1964年（1994年鑄造）
ブロンズ
53.5×18.0×18.0cm

84
岡崎 和郎
ポンプ
1965年（1997年鑄造）
ブロンズ
51.0×28.0×28.0cm

85
田中 功起
どれもこれも
2003年
ビデオ
30分

86
ジョアン・ミロ

絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

87
トニー・クラッグ
無題（棚に置いた5本のボトル）
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0cm

88
ダニエル・スベリー
レストラン・シティ・ギャラリー
1965年
ミクストメディア
135.0×135.0×34.0cm

89
アルマン
カシヤバシヤ、シッパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0cm

90
マルセル・ブロイヤー
アームチェア（ヴァシリー）
デザイン: 1925年
製作: 不詳（スタンダード=メーベル社）
ニッケルメッキのスティールチューブ、カンヴァ
ス
72.4×82.0×72.4cm

91
ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ
アームチェア（MR534）
デザイン: 1927年
製作: 1932年（トーネット=ムンドス社）
クロムめっきのスティールチューブ、布、木
78.7×55.5×82.6cm

92
ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ
テーブル
製作: 1933年（トーネット=ムンドス社）
クロムめっきのスティールチューブ、ガラス
59.7×Φ85.1cm

93
ヘリット・トーマス・リートフェルト
アームチェア
製作: 1919年頃（ヘラルト・A・ファン・デ・フ
ルーネカン）
ブナ、マツ（またはモミ）
87.0×60.5×80.0cm

94
ヘリット・トーマス・リートフェルト
アームチェア

デザイン: 1918年
製作: 1958年（ヘラルト・A・ファン・デ・フルー
ネカン）
カシ
90.0×60.0×60.0cm

95
ヘリット・トーマス・リートフェルト
ベルリン・チェア
デザイン: 1923年
製作: 1958年（ヘラルト・A・ファン・デ・フルー
ネカン）
マツ（またはモミ）
105.5×68.5×55.2cm

96
ヘリット・トーマス・リートフェルト
ジグザグ・チェア
デザイン: 1932-33年
製作: 1940年（ヘラルト・A・ファン・デ・フルー
ネカン）
カエデ、ポルト、ナット
73.0×35.7×43.0cm

97
ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ
S533RF
デザイン: 1927年
製作: 1997年(ゲブリューダー・トーネット社)
スティール、藤
82.0×56.0×84.0cm

98
ヘリット・トーマス・リートフェルト
635レッドアンドブルーラウンジチェア
デザイン: 1918年
製作: 1997年（カッシーナ社）
ブラックアニリン染色塗装、ウレタン塗装、
ブナ
88.0×65.5×83.0cm

99
ヘリット・トーマス・リートフェルト
280ジグザグアームレスチェア
デザイン: 1934年
製作: 1997年（カッシーナ社）
サワラ
74.5×37.0×43.0cm

100
河井 寛次郎
碧釉扁壺
1964年
陶器
19.5×21.0×21.0cm

101
黒田 辰秋
赤漆彫華紋飾手篋
1941年
漆、ヒノキ

18.8×34.2×24.9cm

102

黒田 辰秋
彩漆群蝶図手篋
1948年
漆
19.8×34.2×20.8cm

103

黒田 辰秋
乾漆耀貝螺鈿捻十稜水指
1965年
漆、鮑貝
18.0×Φ22.4cm

104

マリオ・メルツ
廃棄される新聞、自然、蝸牛の体のうちに、空間の力として継起する螺旋がある
1979年
新聞紙、ネオン、ガラス、粘土、布
270.0×1000.0×600.0cm

105

ミケランジェロ・ピストレット
ぼろぎれのヴィーナス
1967年
石膏、布
160.0×200.0×100.0cm

106

ジュゼッペ・ベノーネ
マリティム・アルプスーその部分を除いて、さらに木は成長し続けるだろう
1968年（2004年プリント）
ゼラチンシルバープリント
58.2×38.9cm

107

ジュゼッペ・ベノーネ
マリティム・アルプスーその部分を除いて、さらに木は成長し続けるだろう
1978年（2004年プリント）
ゼラチンシルバープリント
58.2×38.9cm

108

ジュゼッペ・ベノーネ
石、ロープ、木、太陽
1968年（2004年プリント）
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.8cm

109

ジュゼッペ・ベノーネ
石、ロープ、木、雨
1968年（2004年プリント）
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.8cm

110

ジュゼッペ・ベノーネ
解剖学3
1993年
大理石、水、ポンプ
130.0×60.0×60.0cm

111

加藤 翼
Break it before it's Broken
2015年
ビデオ、ラムダプリント
4分49秒

112

加藤 翼
I & see you
2015年
ビデオ、ラムダプリント
8分55秒

113

村上 隆
R.P.（ランドセル・プロジェクト）
1991年
コブラの皮革、タテゴトアザラシ（毛付）の皮革、タテゴトアザラシの皮革、イワシクジラの皮革、ダチョウの皮革、カイマンワニの皮革、カバの皮革、ヨシキリザメの皮革
各30.0×23.0×20.0cm（8点）

114

榎 忠
秘密基地 You're on call at the"HUSH-HUSH"
2000年
鉄
サイズ可変

115

Chim↑Pom
BLACK OF DEATH 2013
2013年
ビデオ
8分53秒

116

若林 奮
胡桃の葉
1994-96年
胡桃の葉、銅、インク、紙、木、鉄、アルミニウム
サイズ可変

117

松澤 宥
80年問題113番 蹴落し坂にて
2002年
XEROX、紙、アルミニウム
サイズ可変

118

下道 基行
torii
2006-12年
タイプCプリント
106.0×158.0cm

119

下道 基行
torii
2006-12年
タイプCプリント
106.0×158.0cm

120

下道 基行
torii
2006-12年
タイプCプリント
106.0×158.0cm

121

山口 啓介
象の檻（青）
1995年
膠、樹脂、顔料、紙
210.0×271.0cm

122

イヴ・クライン
モノクロームIKB65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

123

ダニエル・ビュレン
無題
1970年
アクリル、ストライプの入った麻布
206.0×201.0cm

124

アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

125

ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
100.0×81.3cm
寄託作品

126

ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年

油彩、カンヴァス
129.0×97.0cm

127

ルーチョ・フォンターナ
空間概念N3
1959-60年
ブロンズ
63.5×63.5×64.5cm

128

クリスト
梱包
1961年
布、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm

129

ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襷のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

130

ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

131

プリンキー・バレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0cm

132

プリンキー・バレルモ
無題（セロニアス・モンクに捧げる）
1973年
合板、塗料（黒）、鏡
22.2×89.6×3.2cm

133

イミ・クネーベル
DIN規格 I B1-B4
1994年
アクリル、アルミニウムシート、合板
各34.0×25.3×8.0cm（4点組）

134

村上 友晴
無題
1989-90年
油彩、カンヴァス
162.0×130.0cm

135

諏訪 直樹

THE ALPHA AND THE OMEGA F-1・
THE ALPHA AND THE OMEGAF-2
1978年
アクリル、カンヴァス
各240.0×286.0×5.6cm (2点組)

136
岡崎 乾二郎
「あなたなら聞こえるでしょう。おばさん」 婦人はもの思いにふけるかのようにおし黙っていたけれど、ついに彼女は壁に向かって大きなあくびをしてしまう。その口を瞬く間に彼女自身の手が蓋をする。壁には月光をあびた窓の形がくっきりと浮きでている。葉を落とした木々の裸の枝組みがかすかに揺れながら、その上に影を落とす。遠くで電話が鳴り、壁一枚隔てた隣室から誰かの声が聞こえた。同時に同じ場所のふたつの相反する悩みに心が奪われているだろう。自分の顔が見えたなら、すべては理解できるはずなのに。「自分の名前まで忘れちゃった。でも、この部屋に誰が住んでるのかは知ってるわ」

「きみにはわからないわね。こどもだもの」こどもはもじもじしながら、しばらく顔をうごかしていたけれども、ふいに視界からこどもの姿が消えて、ちらりとお尻が水面をよこぎり、もう次の瞬間、水中には白っぽい影があって底に向かって沈んでいった。澄んだ水面に、ひとつぶ雨が落ちたように、幾重にも同心円がひろがっていく。今気づいたのだが、奇妙なことは何ひとつなかった。たぶん真夜中でも眼は見えるのだろう。昼と夜は分かちがたく繋がっていたのだし、涙でガラスが曇ってしまっても眼鏡に臉はないのだから。「涙でぜんぜん見えないう。だから手を伸ばし、なるべく近くの物を掴んでみるよ」
1997年
アクリル、カンヴァス
各180.0×130.0×5.0cm (2枚組)

137
佐藤 克久
ありあり
2009/16年
アクリル、油彩、カンヴァスシート、アルキド樹脂、厚紙、接着剤
23.5×109.0cm

138
佐藤 克久
ちらほら
2016年
アクリル、油彩、カンヴァスシート、アルキド樹脂、厚紙、接着剤
70.5×50.5cm

139
佐藤 克久
みすます
2016年

アクリル、カンヴァス
41.0×41.0cm

140
佐藤 克久
みすます
2016年
アクリル、カンヴァス
41.0×41.0cm

141
佐藤 克久
はあ
2018年
アクリル、カンヴァスシート、木材、ひも
作家蔵

142
佐藤 克久
ろくデナシ
2019年
油彩、アルキド樹脂、カンヴァス
作家蔵

143
佐藤 克久
空空杵杵
2019年
アクリル、蜜蝋ワックス、カンヴァスシート、木材、虫ビン
作家蔵

144
佐藤 克久
空空杵杵
2019年
アクリル、蜜蝋ワックス、カンヴァスシート、木材、虫ビン
作家蔵

145
佐藤 克久
空空杵杵
2019年
アクリル、蜜蝋ワックス、カンヴァスシート、木材、虫ビン
作家蔵

146
佐藤 克久
空空杵杵
2019年
アクリル、蜜蝋ワックス、カンヴァスシート、木材、虫ビン
作家蔵

147
ライアン・ガンダー
おかあさんに心配しないでといって (6)
2013年
大理石樹脂

クリムト展 ウィーンと日本1900

2019年7月23日〔火〕ー 10月14日〔月・祝〕（10月12日は臨時休館）

74日間

展示室8

19世紀末から20世紀にかけてウィーンで活躍したグスタフ・クリムト（1862-1918）の歿後100年の記念展。クリムトは新しい表現を追求しながら、官能的もしくは装飾的で華やかな作品を残したことで知られる。日壊友好150年の周年事業の一環でもある本展では、ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館の全面的な協力を得ることで、オーストリアの美術館や博物館、関係機関を中心に、国内外から作品の借用が可能となった。アカデミックな画風の初期作品から「黄金様式」の代表作、優美な女性像や風景画等、クリムトの初期から晩年までの作品を展観した。またクリムトの素描やスケッチ、写真、手紙、資料等に加え、同時代の画家の作品や、クリムトたちに影響を与えた日本や東洋の美術工芸作品も展示することで、クリムトの原点と作品の変遷を立体的に紹介することができた。

観覧料: 1,600円 [1,400円] / 大学生1,300円 [1,100円] / 高校生以下無料

※大学生は7月23日〔火〕ー8月4日〔日〕無料 ※〔 〕内は前売り及び20名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、及び豊田市内在住の75歳以上は無料〔要証明〕

主催: 豊田市美術館、朝日新聞社、中京テレビ放送、ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館

後援: オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム

協賛: ショッピングチャンネル、セコム、損保ジャパン日本興亜、大日本印刷、竹中工務店、トヨタ自動車、三菱商事、トヨタすまいるライフ

協力: 全日本空輸

出品点数: 108点

観覧者数: 200,994人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

Ⅰ 記念講演会1「クリムト: その人生と芸術」

講師: フランツ・スモラ (ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館学芸員)

日時: 7月23日〔火〕 午後2時ー3時30分

会場: 講堂

Ⅱ 記念講演会2「ウィーンの聖なる春: クリムトの人と作品」

講師: 千足伸行 (美術評論家、広島県立美術館館長)

日時: 9月1日〔日〕 午後2時ー3時30分

会場: 講堂

Ⅲ シンポジウム「クリムトとその時代」

日時: 9月23日〔日〕 午後1時30分ー3時30分

登壇者: 藤井たぎる、西川智之 (名古屋大学大学院人文学研究科教授)

山口庸子、北村陽子、古田香織 (名古屋大学大学院人文学研究科准教授)

前田朋美 (中部大学非常勤講師)

角山朋子 (南山大学外国語学部講師)

会場: 講堂

Ⅳ トーク&コンサート「ウィーンの楽しみ方・絵画と音楽」

日時: 7月27日〔土〕 午後2時ー3時30分

トーク: 西田兼 (島根大学准教授)

演奏: 綾クレバーン (ピアノ)

会場: 講堂

印刷物:

ポスター: B1判、B2判、B3判

チラシ: A3判 / ニつ折り

作品リスト: A3判 / ニつ折り

図録: 30.2×23.0cm / 276ページ

グラフィックデザイン:

株式会社ワークバンド

作品輸送・展示: ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

会場設営: 株式会社中央工芸

学芸担当: 西崎紀衣、鈴木俊晴、北谷正雄

庶務担当: 松下広江、塚田恵理子

01
モーリッツ・ネーア
猫を抱くグスタフ・クリムト、ヨーゼフシュテッ
ター通り21番地のアトリエ前にて
1911年
写真
16.7×9.7cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

02
撮影者不詳
グスタフ・クリムト
1887年頃
写真
16.3×10.9cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

03
カール・シュースター
エルンスト・クリムト
1890年頃
写真
16.3×10.7cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

04
カール・シュースター
フランツ・マツチュ
1895年頃
写真
16.6×10.8cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

05
ジャン・ヘルプスト
ゲオルク・クリムト
1890年頃
写真
10.65×6.8cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

06
フランツ・マツチュ
ヘルミーネとクララ・クリムト
1882年頃
油彩、カンヴァス
33.0×43.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

07
グスタフ・クリムト
ヘレーネ・クリムトの肖像
1898年
油彩、厚紙
59.7×49.9cm
ベルン美術館（個人から寄託）

08
ゲオルク・クリムト
サデュロスとニンフ
1900年頃

彫金、銅
65.0×35.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

09
ゲオルク・クリムト、グスタフ・クリムト
踊り子
1904年頃
鍛造、銀鍍金、銅板
各43.0×10.0cm
個人蔵

10
グスタフ・クリムト
レース襟をつけた少女の肖像
1880年
油彩、カンヴァス
41.5×31.0cm
個人蔵

11
フランツ・マツチュ
レース襟をつけた少女の肖像
1880年
油彩、カンヴァス
50.0×30.0cm
個人蔵

12
グスタフ・クリムト
男性裸体像
1883年
油彩、カンヴァス
68.0×54.8cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

13
フランツ・マツチュ
杖を持って座る男性裸体像
1879年頃
水彩、紙
35.0×25.0cm
個人蔵

14
フランツ・マツチュ
杖を持って立つ男性裸体像
1880年
水彩、紙
35.0×25.0cm
個人蔵

15
グスタフ・クリムト
森の奥
1881/82年
油彩、カンヴァス
11.5×15.5cm
飛騨高山美術館蔵

16
エルンスト・クリムト
甲冑のある静物
1885年頃
油彩、厚紙に貼られたカンヴァス
19.0×26.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

17
ハンス・マカルト
ヘルメスヴィラの皇后エリーザベトの寝室装
飾のためのデザイン（中央の絵：『夏の夜の
夢』）
1884/85年
油彩、カンヴァス
135.0×210.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

18
グスタフ・クリムト
音楽の寓意のための下絵（オルガン奏者）
1885年
油彩、カンヴァス
38.5×50.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

19
グスタフ・クリムト
カールスバート市立劇場の緞帳のためのデ
ザイン
1884/85年
油彩、カンヴァス
52.7×42.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

20
グスタフ・クリムト
緞帳のための習作
1884/85年
油彩、カンヴァス
53.0×42.5cm
個人蔵

21
グスタフ・クリムト
浮く女性
1885-86年
鉛筆、白のハイライト、包装紙
32.0×43.5cm
ウィーン応用美術大学蔵

22
フランツ・マツチュ
ソフォクレス『アンティゴネ』上演中のアテネ
のディオニソス劇場（ブルク劇場天井画のた
めの下絵）
1886年
油彩、カンヴァス
100.0×80.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

23
グスタフ・クリムト
イタリア古典美術
1890年
黒チョーク、擦筆、鉛筆による方眼、墨によ
る枠取り、紙
40.2×54.6cm
ウィーン美術史美術館、図書室蔵

24
グスタフ・クリムト
16世紀フィレンツェ
1890年
黒チョーク、擦筆、鉛筆による方眼、墨によ
る枠取り、紙
35.0×49.8cm
ウィーン美術史美術館、図書室蔵

25
グスタフ・クリムト
15世紀フィレンツェ
1890年
黒チョーク、擦筆白のハイライト、鉛筆によ
る方眼、墨による枠取り、紙
35.0×49.8cm
ウィーン美術史美術館、図書室蔵

26
フランツ・マツチュ
女神（ミューズ）とチェスをするレオナルド・ダ
ヴィンチ
1889年
油彩、カンヴァス
64.0×130.0cm
中環美術館蔵

27
エルンスト・クリムト
フランチェスカ・ダ・リミニとバオロ
1890年頃
油彩、カンヴァス
125.0×95.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

28
グスタフ・クリムト
イザベラ・デステ（ティツィアーノの模写）
1884年
油彩、カンヴァス
96.0×63.0cm
ベレシュ国立博物館蔵

29
グスタフ・クリムト
紫色のスカーフの婦人
1895年頃
油彩、カンヴァス
67.0×41.0cm
ウィーン美術史美術館、絵画館蔵

30

グスタフ・クリムト
鬚の男の肖像
1896年頃
油彩、厚紙
22.5×20.0cm
個人蔵

31

グスタフ・クリムト
女性の肖像（マリー・“ミッツィ”・ツインマー
マン）
1895-96年
鉛筆、紙
45.7×31.0cm
モラヴィアン・ギャラリー蔵

32

S.フレック・スタジオ（ウィーン）
マリー・“ミッツィ”・ツインマーマンと息子グ
スタフ
1905年頃
写真
15.0×10.2cm
クリムト財団蔵

33

アルベール・ヴォワザール・スタジオ（ウィーン）
マリア・ウッチカー
1899年頃
写真
9.1×6.2cm
クリムト財団蔵

34

カール・シュレンベル・スタジオ（ウィーン）
マリア・ウッチカー
1899年頃
写真
14.0×9.6cm
クリムト財団蔵

35

グスタフ・クリムト
葉叢の前の少女
1898年頃
油彩、カンヴァス
32.4×24.0cm
クリムト財団蔵

36

撮影者不詳
アルマ・マラー
1900年以降
ゼラチンシルバープリント
20.0×15.3cm
オーストリア国立図書館蔵

37

撮影者不詳
グスタフ・クリムトとエミーリエ・フレーゲ

1899年
フェロタイプ、台紙入り
台紙: 12.0×7.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館（個人
から寄託）

38

ハインリヒ・ペーラー
グスタフ・クリムトとファッションデザイナー
のエミーリエ・フレーゲ
1909年
プロムオイル・プリント
28.0×18.0cm
ウィーン応用美術大学蔵

39

ウィーン・フォアアールベルク・クラブの舞踏会
の記念品
1895年頃
小冊子、紐、鉛筆
7.5×6.5×1.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館（個人
から寄託）

40

グスタフ・クリムト
グスタフ・クリムトからエミーリエ・フレーゲに
宛てた書簡（7通）
1895-99年
黒インク、紙
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館（個人
から寄託）

41

ハンス・マカルト
装飾的な花束
1884年
油彩、カンヴァス
205.0×118.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

42

ユリウス・ヴィクトル・ベルガー
アトリエ
1902年
油彩、カンヴァス
100.0×72.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

43

ユリウス・ヴィクトル・ベルガー
室内にいる日本の女
1902年以前
油彩、カンヴァス
47.0×30.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

44

第6回ウィーン分離派展ポスター（菊川英山
《鷹匠図》に基づくモチーフ）
1900年

カラーリトグラフ、紙
101.0×20.0cm
クリムト財団蔵

45

グスタフ・クリムト
女ともだち I（姉妹たち）
1907年
油彩、カンヴァス
125.0×42.0cm
クリムト財団蔵

46

ヨーゼフ・ホフマン
文様のデザイン
制作年不詳
墨、鉛筆、方眼紙、紙の帯を貼り付け
42.1×29.7cm
ウィーン応用美術大学蔵

47

団龍文小皿
1873年以前
陶器、色絵、金彩
15.5×12.0cm
オーストリア応用美術館蔵

48

団龍文小皿
1873年以前
陶器、色絵、金彩
16.0×12.25cm
オーストリア応用美術館蔵

49

故事人物図香箱
19世紀前半
木製、漆塗
4.5×11.6×10.0cm
オーストリア応用美術館蔵

50

水流に鯉図印籠
19世紀前半
木製、漆塗
8.3×7.0×2.4cm
オーストリア応用美術館蔵

51

グスタフ・クリムト
17歳のエミーリエ・フレーゲの肖像
1891年
パステル、厚紙
67.0×41.5cm
個人蔵

52

オスカー・ミュンスターベルク
『日本美術史』（第1巻）
1904年
36.8×26.8cm

ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

53

アーネスト・フランシスコ・フェノロサ
『東洋美術史綱』（1巻・2巻）
1913年
各36.8×26.8cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

54

『日本の春画三十六選菱川師宣、鈴木春信、
喜多川歌麿』
1907年
28.1×22.3cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

55

小原 古邨
二匹の金魚
1912年以降
多色摺木版
23.8×24.3cm
個人蔵

56

鍍
17/18世紀
鉄、銀象嵌、板に朱漆塗
各30.0×12.0×20.0cm
レオポルド美術館（ARGEコレクション・グス
タフ・クリムトから寄託）

57

グスタフ・クリムト
赤子（ゆりかご）
1917年
油彩、カンヴァス
110.9×110.4cm
ワシントン・ナショナル・ギャラリー蔵

58

グスタフ・クリムト
ヌーダ・ヴェリタス（裸の真実）
1899年
油彩、カンヴァス
244.0×56.2cm
オーストリア演劇博物館蔵

59

グスタフ・クリムト
ユディット I
1901年
油彩、カンヴァス
84.0×42.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

60

グスタフ・クリムト
赤いスケッチブック
1898年
紙に鉛筆による素描とメモ、写真

14.3×9.2cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

61
グスタフ・クリムト
第1回ウィーン分離派展ポスター（検閲前）
1898年
カラーリトグラフ、紙
95.0×69.0cm
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

62
ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ
第2回ウィーン分離派展ポスター
1898年
カラーリトグラフ、紙
86.5×46.0cm
クリムト財団蔵

63
コロマン・モーザー
第5回ウィーン分離派展ポスター
1899年
カラーリトグラフ、紙
97.6×65.5cm
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

64
第10回分離派展ポスター
1901年
カラーリトグラフ、紙
86.0×29.0cm
クリムト財団蔵

65
コロマン・モーザー
第13回ウィーン分離派展ポスター
1902年
カラーリトグラフ、紙
176.0×60.0cm
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

66
アルフレート・ロラー
第14回ウィーン分離派展ポスター
1902年
カラーリトグラフ、紙
91.5×60.0cm
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

67
グスタフ・クリムト
ベートーヴェン・フリーズ（原寸大複製）
1984年（オリジナルは1901-02年）
鉛筆、サンギース、パステル、カゼイン絵具、
金、銀、金箔、漆喰、モルタル、その他
216.0×3438.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

68
グスタフ・クリムト

《ベートーヴェン・フリーズ》の「詩」の擬人像
のための習作
1901年
黒チョーク、紙
43.9×32.7cm
コレクション・グラブマン蔵

69
ヨーゼフ・ホフマンによる扉飾りレリーフの復元
2011年
塗装した木
100.0×96.0×16.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

70
ゲルハルト・シュトッカー
分離派会館模型（1902年の第14回ウィーン
分離派展「ベートーヴェン展」開催時）
2011年
菩提樹材
44.0×100.0×130.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

71
マックス・クリンガー
ベートーヴェン
1885年（1907年鋳造）
ブロンズ
51.4×28.8×36.4cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

72
『ヴェル・サクルム』第1年次第3号
1898年
印刷、紙
29.3×28.3cm
豊田市美術館蔵

73
『ヴェル・サクルム』第2年次第3号
1899年
印刷、紙
29.3×28.3cm
豊田市美術館蔵

74
『ヴェル・サクルム』第2年次第9号
1899年
印刷、紙
29.3×28.3cm
豊田市美術館蔵

75
グスタフ・クリムト
うずくまる二人の女性（《水蛇 II》のための習作）
1905-07年頃
色鉛筆、紙
34.8×54.5cm
ウィーン応用美術大学蔵

76
グスタフ・クリムト
鬼火
1903年
油彩、カンヴァス
37.5×47.6cm
個人蔵

77
グスタフ・クリムト
人生は戦いなり（黄金の騎士）
1903年
油彩、テンペラ、カンヴァス
100.0×100.0cm
愛知県美術館蔵

78
グスタフ・クリムト
雨後（鶏のいるザンクト・アガータの庭）
1898年
油彩、カンヴァス
80.0×40.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

79
グスタフ・クリムト
家畜小屋の雌牛
1899年
油彩、カンヴァス
75.0×76.5cm
レントス美術館蔵

80
カール・モル
夕映えの白樺林
1902年頃
油彩、カンヴァス
80.0×80.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

81
カール・モル
ハイリゲンシュタットからヌスベルクを望む
1905年頃
油彩、カンヴァス
80.0×80.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

82
コロマン・モーザー
冬の松林
1907年頃
油彩、カンヴァス
55.5×45.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

83
コロマン・モーザー
水辺の別荘
1908年頃
油彩、カンヴァス

100.5×75.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

84
グスタフ・クリムト
アッター湖畔のカンマー城 III
1909/10年
油彩、カンヴァス
110.0×110.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

85
グスタフ・クリムト
丘の見える庭の風景
1916年頃
油彩、カンヴァス
110.0×110.0cm
ツーク美術館（カム・コレクション財団から寄託）

86
マックス・クルツヴァイル
ミラ・パウアー
1907年
油彩、黒チョーク、カンヴァス
66.3×52.5cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

87
オットー・フリードリヒ
エルザ・ガラフレ
1908年
油彩、カンヴァス
100.0×100.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

88
オットー・フリードリヒ
ガブリエル・ガリア
1910年頃
油彩、カンヴァス
121.0×39.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

89
グスタフ・クリムト
若い女性の横顔
1895年頃
鉛筆、紙
39.0×30.5cm
豊田市美術館蔵

90
グスタフ・クリムト
《オイゲニア・プリマフェージの肖像》の習作
1913/14年
鉛筆、クレヨン、紙
56.5×36.0cm
豊田市美術館蔵

91
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm
豊田市美術館蔵

92
グスタフ・クリムト
白い服の女
1917-18年
油彩、カンヴァス
70.0×70.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

93
グスタフ・クリムト
《医学》のための習作
1897-98年
油彩、カンヴァス
74.7×54.8cm
イスラエル美術館蔵

94
グラフィック専門学校・研究所（ウィーン）
グスタフ・クリムト《医学》
1904年頃
フォトグラヴィア
88.6×61.2cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

95
グラフィック専門学校・研究所（ウィーン）
グスタフ・クリムト《哲学》
1904年頃
サイアノタイプ
88.8×60.7cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

96
グスタフ・クリムト
死の床の老人
1899/1900年
油彩、厚紙
30.4×44.8cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

97
グスタフ・クリムト
亡き息子ottoー・ツィンマーマンの肖像
1902年
チョーク、紙
39.5×25.7cm
ディータード・レオポルド・コレクション

98
ザウル・フレック
ottoー・ツィンマーマン
1902年
写真

10.2×14.7cm
ディータード・レオポルド・コレクション

99
グスタフ・クリムト
リア・ムンク I
1912年
油彩、カンヴァス
50.0×50.5cm
個人蔵

100
グスタフ・クリムト
横たわる恋人たち
1904年
鉛筆、紙
36.8×56.2cm
ヴィーナーロイター・ウント・コールパッハー蔵

101
グスタフ・クリムト
右を向く恋人たち
1914年
鉛筆、紙
34.3×51.0cm
個人蔵

102
グスタフ・クリムト
立つ恋人たち（ストクレ邸の装飾壁画「成就」
のための習作）
1907-08年
鉛筆、紙
57.1×37.1cm
コレクション・グラブマン蔵

103
グスタフ・クリムト
立つ妊婦（《希望 I》のための習作）
1903-04年
黒チョーク、紙
43.0×28.5cm
ヴィーナーロイター・ウント・コールパッハー蔵

104
グスタフ・クリムト
左向きに座る妊婦
1904年頃
鉛筆、紙
55.0×35.0cm
個人蔵

105
グスタフ・クリムト
左向きで立つ女性と妊婦
1906/07年頃
鉛筆、紙
56.0×37.0cm
ガレリー・バイ・デア・アルベルティーナ・ゼッ
ター蔵

106
グスタフ・クリムト
妊婦（《希望 II》のための習作）
1907/08年
赤鉛筆、紙
56.0×37.0cm
財団法人文龍文化芸術基金会蔵

107
グスタフ・クリムト
女の三世代
1905年
油彩、カンヴァス
171.0×171.0cm
ローマ国立近代美術館蔵

108
グスタフ・クリムト
家族
1909/10年
油彩、カンヴァス
90.0×90.0cm
ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館蔵

岡崎乾二郎ー視覚のカイソウ

2019年11月23日 [土]ー 2020年2月24日 [月・祝]

75日間

展示室1-4、8

岡崎乾二郎は、初個展でレリーフ〈あかさかみつけ〉シリーズを発表して以来、あらゆるジャンルにおいて最前線で制作を続け、また、灰塚アースワークプロジェクトや教育活動、展覧会キュレーションや多分野にまたがる批評など、造形活動に劣らぬ熱量をもって、個の領分を超えた旺盛な活動を展開してきた。それは、個々の作品のみではなく、それらの作品が生みだされる場所までも岡崎が形成、造形しようとしてきたがゆえと言える。岡崎は、この世界は決して一元的なものではなく、たがいに相容れない固有性をもったばらばらな複数の世界から成ると言う。そして、それらが一つに融合されることなく、それぞれの個性を保ったまま交通することが可能となるどこにもない場所が成り立つとき、豊かな創造性が生まれるのだという考えを堅持してきた。表現が何かを代表してしまうことを疑い、抵抗し、もっと周縁的なもの、小さなものが持つ可能性を尊重すること。岡崎の活動が一つに留まることなく、つねに多くの人や事物とネットワークを結び、広げてきたのは、こうした複数世界についての確信の現れだと言える。

見ることには、つねに回想することが含まれている。豊田市美術館の空間を存分に生かし、過去に遡ってその仕事を回顧するのではなく、作品を前に回想することで、私たちの感覚が絶えず刷新される展示を実践した。



ポスター

観覧料: 一般: 1,300円 [1,100円] / 高大生900円 [800円] / 中学生以下無料

*[]内は前売り及び20名以上の団体料金 *障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生、及び豊田市内在住の75歳以上は無料[要証明]

主催: 豊田市美術館

協力: urizen、株式会社LIXIL、株式会社中川ケミカル、Takuro Someya Contemporary Art、南天子画廊、ガレリアフィナルテ、Blum & Poe

出品点数: 277点

観覧者数: 14,793人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

Ⅰ 講演会

講師: 岡崎乾二郎 (出品作家)

日時: 12月22日 [日] 午後2時ー4時30分

会場: 講堂

Ⅱ 対談

講師: 岡崎乾二郎 (出品作家)

斎藤環 (精神科医・筑波大学社会精神保健学教授)

日時: 1月13日 [月・祝] 午後2時ー4時

会場: 講堂

Ⅲ 講演会「旅について」

講師: 岡崎乾二郎 (出品作家)

日時: 2月9日 [日] 午後2時ー4時30分

会場: 講堂

Ⅳ 映画上映「回想のヴィトゲンシュタイン」

(1988年制作、上映時間: 1時間)

日時: 2月14日 [金]ー24日 [月・祝] 午後2時ー、

午後4時ー (15日は上映なし、16日は午後4時ー)

会場: 講堂

Ⅴ シンポジウム

「展覧会カタログ執筆者によるシンポジウム」

登壇者: 岡田温司 (美術史家、京都大学大学院教授)

林道郎 (美術史家、美術批評家、上智大学国際教

養学部教授)

松浦寿夫 (画家、美術史家、武蔵野美術大学教授)

日時: 2月15日 [土] 午後2時ー4時

会場: 講堂

Ⅵ シンポジウム「「視覚のカイソウ」クロージングシンポジウム」

登壇者: アズビー・ブラウン (建築家、美術作家)

アンドリュー・マークル (ライター、編集者)

池田剛介 (美術作家)

日時: 2月24日 [月・祝] 午後1時30分ー3時30分

会場: 講堂

*新型コロナウイルス感染症の影響により中止

Ⅶ 学芸員によるギャラリートーク

日時: 1月5日 [日]、26日 [日]、2月16日 [日]

午後2時ー

Ⅷ 作品ガイドボランティアによるギャラリーツアー

木曜日を除く毎日午後2時ー (土・日・祝日は午前

11時ー、午後2時ー、関連事業開日は午前11時ー

のみ)

印刷物:

ポスター: B1判、B2判

チラシ: A4判8種類

作品リスト: A4判/12ページ

図録: A4変形判/Book1: 408ページ/

Book2: 20ページ

グラフィックデザイン: 森大志郎

作品輸送・展示: ヤマトグローバルロジスティ

クスジャパン株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタチオ

学芸担当: 千葉真智子、鈴木俊晴、北谷正雄

庶務担当: 松下広江、塚田恵理子

01 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #24 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.7cm 作家蔵	いわき市立美術館蔵	レン 27.5×25.0×17.5cm 国立国際美術館蔵	個人蔵
02 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #31 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.7cm 個人蔵	08 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #21 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.7cm 作家蔵	15 岡崎 乾二郎 711 6692 Gohongi 1982-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 28.5×19.0×21.0cm 作家蔵	22 岡崎 乾二郎 おかちまち 1981-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm 個人蔵
03 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #10 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm いわき市立美術館蔵	09 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #7 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm 国立国際美術館蔵	16 岡崎 乾二郎 かっぱばし 1981年 アクリル、顔料、ポリエチレン 25.5×21.0×15.0cm 池上弥々氏蔵	23 岡崎 乾二郎 おかちまち d-4 1981-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm 作家蔵
04 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #12 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm いわき市立美術館蔵	10 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #5 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm 国立国際美術館蔵	17 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ 1981年 アクリル、顔料、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm 高松市美術館蔵	24 岡崎 乾二郎 おかちまち c-3 1981-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm 作家蔵
05 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #11 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm いわき市立美術館蔵	11 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #23 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.7cm 国立国際美術館蔵	18 岡崎 乾二郎 うぐいすだに 1981年 アクリル、顔料、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm 高松市美術館蔵	25 岡崎 乾二郎 おかちまち 1981-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm 個人蔵
06 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #17 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm いわき市立美術館蔵	12 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #30 1981-2012年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.7cm 個人蔵	19 岡崎 乾二郎 そとかんだ 1981年 アクリル、顔料、ポリエチレン 14.1×33.0×39.5cm 高松市美術館蔵	26 岡崎 乾二郎 おかちまち d-5 1981-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm 作家蔵
07 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #2 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm	13 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #14 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25.0×17.5cm 国立国際美術館蔵	20 岡崎 乾二郎 711 6692 Takaban 1982-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 28.5×19.0×21.0cm 個人蔵	27 岡崎 乾二郎 おかちまち 1987-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm 個人蔵
08 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #8 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン	14 岡崎 乾二郎 あかさかみつけ #8 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン	21 岡崎 乾二郎 おかちまち 1981-2018年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×27.0×11.5cm	28 岡崎 乾二郎 おかちまち d-3 1987-89年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン

レン
27.5×27.0×11.5cm
作家蔵

29
岡崎 乾二郎
おかちまち a-2
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
作家蔵

30
岡崎 乾二郎
おかちまち a-1
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
作家蔵

31
岡崎 乾二郎
おかちまち b-5
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
豊田市美術館蔵

32
岡崎 乾二郎
おかちまち b-4
1981-87年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
豊田市美術館蔵

33
岡崎 乾二郎
おかちまち b-3
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
豊田市美術館蔵

34
岡崎 乾二郎
おかちまち b-2
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
豊田市美術館蔵

35
岡崎 乾二郎
おかちまち b-1

1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
豊田市美術館蔵

36
岡崎 乾二郎
おかちまち c-4
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
作家蔵

37
岡崎 乾二郎
おかちまち d-1
1987-89年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
作家蔵

38
岡崎 乾二郎
おかちまち a-3
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×27.0×11.5cm
作家蔵

39
岡崎 乾二郎
あかさかみつけ
1981-2012年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×17.7cm
作家蔵

40
岡崎 乾二郎
あかさかみつけ
1981-2012年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×17.7cm
作家蔵

41
岡崎 乾二郎
あかさかみつけ
1981-2012年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×17.7cm
作家蔵

42
岡崎 乾二郎
あかさかみつけ #28
1981-2009年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×17.7cm
作家蔵

43
岡崎 乾二郎
サウモクのくさきにクワヒとうつくしみ、かうむらしむ
2000年
セラミック
19.0×45.0×36.0cm
豊田市美術館蔵

44
岡崎 乾二郎
T.A.O.I.N.S.H.R.D.L./COME HERE AT ONCE
aldrins
daltons
ladinos
inthal
ladrons
lardons
hadrons
diatron
althom
anthoid
hairdos
latinos
oralist
dilator
aroints
ordains
ordinal
inroads
haroids
dronish
2019年
インク、紙
各 78.0×54.0cm (20枚組)
作家蔵

45
岡崎 乾二郎
Cereal leaf beetle 金花虫
Cereal leaf beetle oat
Cytokinesis/Psychokinesis
Psychokinesis/Cytokinesis
De fructus autem sicientiae-boni
De fructus autem sicientiae-malum
Manthan Kurma
Manthan amrta
Manthan Halahala
Black Sea deluge hypothesis I
Black Sea deluge hypothesis II
Black Sea deluge hypothesis III

Black Sea deluge hypothesis I
Black Sea deluge hypothesis II
Black Sea deluge hypothesis III
Tornade/Tritylodontidae (三つのこぶのある歯をもつ生きもの)
Android/Tritylodontidae (三つのこぶのある歯をもつ生きもの)
Odorant/Tritylodontidae (三つのこぶのある歯をもつ生きもの)
Tonality/Tritylodontidae/Tritylodontidae (三つのこぶのある歯をもつ生きもの)
2019年
インク、紙
各 54.0×39.0cm (19枚組)
gigei10

46
岡崎 乾二郎
Physiognomy
2016年
インク、紙
各 54.0×38.0cm (16枚組)
タグチ・アートコレクション

47
岡崎 乾二郎
ひかりとひかりのあいだにてことなり、みゆるもののもとこれにしてそみつにあらず、すなわちけいしきのげんり、うぬがとくにしたがってめいあんをしょうずる、ぶったいさまざまのちからごうしてつくるまぜものひとつならじ、まじれるちからぶったいのなかにかがやき、いくるひとみのなかによるこびのかがやく。
2009年
釉彩セラミックタイル
360.0×360.0×1.1cm (144枚組)
作家蔵

48
岡崎 乾二郎
出来/ルーテルの食卓
河内 (ハノイ)/地球上ではじめての聲
瑠璃/西方の澆刺
戸口/雑巾と棕櫚の靴拭い
2015年
アクリル、カンヴァス
24.2×18.5×3.0cm
24.3×18.4×3.0cm
24×18.1×3.0cm
24.2×18×3.0cm
作家蔵

49
岡崎 乾二郎
野は緑、小鳥が歌い、露が輝き、煙がたち昇り、そこそこに見えるのはみな「だれか」だった

た。光のなかで姿を現し姿を変える、心を打つものすべてはきっと「だれか」の所為。もし植物たちが感情を持たなかったら、地上を充たしている感覚も乏しく疎らとなるだろう。花の回りを飛び交う昆虫のかたちをした、心もきっと孤独のはず。森のなかを駆ける獣たちの目にも耳にも何一つ触れるものがない。けれど水たまりの前で、獣がにわかに渴きを覚えるとき、その渴きこそ「だれか」である。ハシバミの枝々は動き、日は西に沈む。潮かぜ海かぜ、何を求めてさまよい歩く。

2016年
アクリル、カンヴァス
210.0×260.0×7.0cm
さざなみが大海原に生じ、葉が木に生えるように、ぼくらは世界に生れた。さざなみは光を各々、別の斜面において捉え、煌めき、枝が動かずとも木の葉は戦ぐ（耳や目をそばだて）。それは目にも耳にも手にもまるで別の事件として生じる。然るに意識が世界を掴むとき体は引き潮のように背景に退く。わたしは言う（だから耳目に頼らず）起きなさい。
2016年
アクリル、カンヴァス
72.0×90.5×5.5 cm
作家蔵

50
岡崎 乾二郎
あなたはこの水を乾かし、あるいは飲み干すだろう。けれど決して水は減びない。水は姿を変え移動しただけである。水は乾くことなく、水がのどの渴きを癒すのだ。と似て、わたしの指一本いや手足を切り落とそうと、わたしは切り落せない。姿を変える勝手気ままが水ではなく、わたし（の赤い水、血）ではない。水の中に水の姿に関わらぬ何か、として水の霊が宿っている（水が弾きだす波と早合点しないように。波は音楽のようにあちこち拡がり増えたり減ったりするが、水の霊は増減せず分割もされない）。わたしは水の中にあり、泳ぎ、まどろみ、そして目覚める。
2016年
アクリル、カンヴァス
210.0×260.0×7.0cm
宙空の簾 / アウフヘーベン
2016年
アクリル、カンヴァス
25.0×18.0×3.0cm
OKETA COLLECTION

51
岡崎 乾二郎
石がとどく距離なら、限なく見渡せるさ。よって、剥き出しになった骸に気づかぬ者—水を目の前に、乾いた口で飢えを我慢するような者は、だれもない！悲しみは消えず、きっと肌の上に残るだろう（だから）、いつまでもきりなく泣くことはない。奇麗な死を願うのであれば（食われたくなければ）。海綿と水を用意し、今すぐ洗濯に出かけたまえ。

2005年
アクリル、カンヴァス
160.0×220.0×7.0cm
遠く投げた石によって、少年の肩の筋と骨とは粉々に砕かれた。距たりゆえにこの男—ダレモイナイ、自身は、自分が何をしたのか知ることもない。同じ母から生まれた者を殺したというのに。見える通りその肌はつるつる、滑らかなまま。けれど（だから）心が晴れることはもうないだろう。感じられるのは右脚のくるぶしの痛み。その痛みに大粒の涙を流す、ダレモイナイ。他国のものよ、この男と戦うつもりなら、その鼻と耳を削ぎ落とし、犬に食わずことさえも躊躇うことないぞ。

2005年
アクリル、カンヴァス
72.5×91.0×5.5cm
作家蔵

52
岡崎 乾二郎
静かな場所だった。聴こえているのは存在しない音楽。賑やかなのはわたしの耳のせい。波止場のざわめきは遠く、しとやかに聴こえる。まごまごしてここに迷い込んだ。眩しい光。まごまごした穢の香り、イナサの風。あの島に行くつもり？舟の名は？アイオロス、一緒にについていくさ。
2019年
アクリル、カンヴァス
210.0×130.0×6.7cm
小さな鳥は北のほうから海上をかなり低く飛んできた。舟のへさきに止まった彼女はずいぶん疲れている。「旅ははじめてかい？」言葉が伝わるよりも速く鳥は飛ぶ。言葉が消えぬ間に波は静まり太陽も戻ってきた。わたしはもう夢を見ることはない。けれど臉の上に鳥が飛んでくる。青空にみるみる白い雲が棚引き、朗々たる声がはらはら雪のようにふってきた。「あの歌は誰が歌っているの」。砂浜にライオンがいる。「きみは幾つ？」ライオンは微笑む。ごらんなさい、ごらんなさい、わたしは幸せです。いつも挨拶を交わしていたけど、話をしたのははじめてなのです。
2019年
アクリル、カンヴァス
210.0×260.0×6.7cm
作家蔵

53
岡崎 乾二郎
水天髣髴／シロクマの素潜り
乳母日傘／眼が焦げるほど太陽を見つめる
渭樹江雲／土のはやさ、水のさとり、星のまばたき
蓮華宝土／照らしあたため、分かたれずに分かたれ
四荒八極／漁師の瞑想、農夫の沈思
梅林止渴／こうして森はながらえる
2015年
アクリル、カンヴァス

各18.0×14.0×3.0cm
高橋龍太郎コレクション

54
岡崎 乾二郎
青い胡桃、酸っぱい花梨、吹きとばせ。わたしの口にもう水分はなく、わたしの舌は吹きかけられた言葉の暖かさで蠟燭のように溶けていました。そのあと六十五回も居眠りするあいだに、しとしとと頭蓋の上から下にむかって滴り落ちる雫で、はっきりと目が覚めたのです。どうと露が風で晴れ、日の光が射してきて、草からきらきら雫が落ち、すべて葉も茎も花も光と水に充ちた形をもっているものはみんな一つの完全なる甘露でした。
2019年
アクリル、カンヴァス
160.0×260.0×6.7cm
作家蔵

55
岡崎 乾二郎
クルは道に迷ってしまった。どちらを向いても荒っぽい岩山ばかり。ひもじくて水が飲みたくて（カツテモ老人ガ水ヲ飲ミタクテ若イトキコノ島ニ来タママ五十年モ井戸ヲ見守ツタトイウ）、クルは疲れ、うたた寝をする。その間に井戸から水、誰も見ていないけれど、落葉が濡れている。茨の生えたところには薔薇が。不毛の荒地には蜜蜂、危険な道にも草木、断崖には川が流れ、正しきヒトは怒りの声をあげる。痩せ土からも泉は湧く。
2019年
アクリル、カンヴァス
160.0×260.0×6.7cm
作家蔵

56
岡崎 乾二郎
あなたがたの考え（善悪）は紙に書かれる。この紙ぎれを火にくべよう。紙が燃えたらその考えこそ過ちとなる。紙は炉に投げ込まれ、しばらく火の中にあったが、やがて焼けも焦げもせずふわり、ふわりと飛びだしていく。楽園に神が生ぜしめた（花も葉もめだたぬ）善悪を知る一本の木。その木から（禁じられた果実と同じく）紙ぎれも作られたのである。
2009年
アクリル、カンヴァス
228.0×141.0×6.5cm
天使は翼があるから鳥という。顔かたちは玉のように清らか、声のさまも女のように。心を寄せても返事は文ばかり、耳に入るは羽音だけ。
2009年
アクリル、カンヴァス
141.0×87.0×6.5cm
野には（この世界では見えぬ）育ちも摘まれもしない無数の種子が眠る。言葉は種子である。あなたの見る水は、いつのまにか漲り涸れる河のように水蒸気で作るのではない。地

の底から、泉のように想起されるのである。
2009年
アクリル、カンヴァス
141.0×141.0×6.5cm
愛知県美術館蔵

57
岡崎 乾二郎
The Unavowable Community またくる別の朝（朝になれば私はいない）。
The Unavowable Community 私は私が考えた（作った）ものではありません。
The Unavowable Community 夜には終わりが（夜は常にいまここにある）。
2018年
アクリル、カンヴァス
23.0×17.8×3.0cm
23.0×17.7×3.0cm
23.0×17.7×3.0cm
個人蔵

58
岡崎 乾二郎
死者はきっと到着できますか（天の光は出口の合図）？ 肉体もなく翼も必要ない魂だって、こんなに上まで飛びつづけられないわ。かつて川の畔に一本の高い高い木があり（それを猿のように攀じ、鳥のように枝うつりし）未来の故郷へ行けると教わりました（勉強の手引！）。木は朽ち、膝を草叢につくと「これはスミレ」。わたしはその名を知っています。
2008年
アクリル、カンヴァス
228.0×141.0×6.5cm
光にとって空気は透明ではない（侵入の妨げ）。だから天空には星！つまり窓が開き、夕方には眩しい光（言葉でなく）が地上へとどく。
2008年
アクリル、カンヴァス
141.0×87.0×6.5cm
空の国も（地上と似て）樹木と花々に満ち、動物も鳥も（もちろんアヒルも兎も）いて、みんな地上より美しい！それらは確かに存在する！空の青さを見なさい。速くに存在する、ものはなんでも青、と見えるのだから。

2008年
アクリル、カンヴァス
141.0×141.0×6.5cm
国立国際美術館蔵

59
岡崎 乾二郎
目の中にあるスクリーンの丸い穴、つまり瞳を通ってくる光だけが目のレンズを通り抜けて、ゼリー状のガラス体を横切って、目の後部のスクリーンの奥にまで、達するのである。
1992年
アクリル、カンヴァス
116.8×91.2×5.8cm

MTM コレクション

60

岡崎 乾二郎

わけがわからなかった。光が屈折して、ものが曲がって見えるということを学んでいない子供には、見える通りに、その棒は、ほんとに曲がっているのだ。けれど、それをはっきりと僕に教えてくれたのは母だった。

1992年

アクリル、カンヴァス

91.0×73.5×5.0cm

作家蔵

61

岡崎 乾二郎

いいや、もっとちがう感じだ。つまりアイソロピックというのはね、あらゆる方向に対して、同じように振る舞うという意味だよ。

1992年

アクリル、カンヴァス

91.0×73.0×5.5cm

作家蔵

62

岡崎 乾二郎

このふたつの銘柄の紅茶の香りになんのちがいもありません。けれどもレモンと石鹸はちがうってことを、知っている人はそれを知っているし、もううわさだって流れているわ。

1992年

アクリル、カンヴァス

116.0×89.0×5.0cm

難波英夫氏蔵

63

岡崎 乾二郎

2、3日中に、お返事をうかがえますか。折り返し電話を下さいと言って下さい。というも子供のときは、友達に電話なんてかけませんでしたから。

1994年

アクリル、カンヴァス

116.0×89.0×5.0cm

作家蔵

64

岡崎 乾二郎

3時15分

1983-93年

アクリル、顔料、ポリプロピレン、紙、他
27.0×17.0×17.0cm

作家蔵

65

岡崎 乾二郎

1853

2019年

木

194.0×442.0×410.0cm

作家蔵

66

岡崎 乾二郎

1853

2002年

木

300.0×750.0×570.0cm

作家蔵

67

岡崎 乾二郎

テウミンとたみをとむらって バツサイとつみ

をきりしは

2000年

セラミック

35.5×81.0×41.0cm

東京国立近代美術館蔵

68

岡崎 乾二郎

ハンバウとそむきにぐるものを ホクワクととらへえたり

2000年

石膏

26.5×77.0×51.5cm

作家蔵

69

岡崎 乾二郎

ロラのうさぎうま ドクトクのこうしのこ

2000年

セラミック

37.0×50.5×26.5cm

作家蔵

70

岡崎 乾二郎

海の水はしおからく河の水はあっさりしている。鱗のあるものは水に潜って羽のあるものは空を飛ぶ。

1999年

セラミック

47.0×43.0×25.0cm

MTM コレクション

71

岡崎 乾二郎

ヨウシのかほばせは ジヤクシとものおもへるがごとくし

2000年

セラミック

36.0×32.5×30.0cm

作家蔵

72

岡崎 乾二郎

サイチョウのくさぶらのよきは カイキヤウのからし、はじかみ

2000年

セラミック

27.0×35.5×33.0cm

作家蔵

73

岡崎 乾二郎

ケウシュとてをあげ トンソクとあしをかた

ぶけて

2000年

セラミック

34.5×42.5×32.5cm

個人蔵

74

岡崎 乾二郎

でんえんちようふほんまち HUN

でんえんちようふほんまち NOA

でんえんちようふほんまち CIF

でんえんちようふほんまち ECE

でんえんちようふほんまち NOM

1998-2018年

木

各 102.5×114.0×45.0cm (5点組)

Obayashi Collection

75

岡崎 乾二郎

かたがみのかたち 01

1979年

綿布、和紙、墨

83.5×66.0cm

作家蔵

76

岡崎 乾二郎

かたがみのかたち 04

1979年

綿布、和紙、墨

91.0×72.5cm

作家蔵

77

岡崎 乾二郎

川に水を運ぶ

1986年

綿布、絹

218.0×170.0cm

富山県美術館蔵

78

岡崎 乾二郎

まだ早いが遅くなる

1986年

綿布、絹

224.0×176.0cm

大原美術館蔵

79

岡崎 乾二郎

斧を磨いて針にする

1986年

綿布、絹

213.0×170.0cm

高松市美術館蔵

80

岡崎 乾二郎

木灰木を育てる

1986年

綿布、絹

209.0×159.0cm

千葉市美術館蔵

81

岡崎 乾二郎

かたがみのかたち 03

1979年

綿布、和紙、墨

87.5×68.0cm

作家蔵

82

岡崎 乾二郎

踏み面は大。蹴上げは小。(日の光で固める)

2010年

アクリル、カンヴァス

19.3×25.0×3.3cm

個人蔵

83

岡崎 乾二郎

建築における言語 (理屈は簡単)

2010年

アクリル、カンヴァス

21.0×15.3×4.5cm

個人蔵

84

岡崎 乾二郎

ゲネサレの陸／Signs of fish

2019年

アクリル、カンヴァス

18.3×25.3×3.0cm

高橋龍太郎コレクション

85

岡崎 乾二郎

カブリマリのアグリマカ／ホラ、ホラ、ボクラ

2019年

アクリル、カンヴァス

20.6×16.8×2.9cm

個人蔵

86

岡崎 乾二郎

オモカゲ／泣き萎れ、笑み木垂る

2018年

アクリル、カンヴァス

16.5×20.4×3.0cm

個人蔵

87

岡崎 乾二郎

赤土に来たる、子／Ultisol as Ultimate Solution

2019年
アクリル、カンヴァス
22.0×16.3×3.0cm
作家蔵

88
岡崎 乾二郎
「手出しをするな。ということこそ、私たちにとって唯一の言葉である。」ぐんぐん近づいてきたのよ。でもこなかった。音もしなかったし、まだ明るかった。そんなにあんまり呼ばないで。いま自分から行こうとしているのだから。なんであんなことを彼が言っていたのか分かったわ。

然るにその日の午後になって、わたしたちの住んでいる住宅地のすぐ近くに、落ちたのです。ええ、私の知っている人は一人だけです。熱エネルギーの移動。これだけは自然のなりゆきにまかせるよりほかはない。いや、やはりそれは自然のしわざではない、化学者のしわざです。「手の下しようもなく、お行儀がいい。だからどうかわたしを日陰におかないで。」あんなことを、なんで彼が言っていたのか分かるでしょう？
1990-91年
銅、木
186.0×243.0×292.0cm
大阪中之島美術館蔵

89
岡崎 乾二郎
エンディミオン
2003年
粘土
21.8×23.3×30.4cm
個人蔵

90
岡崎 乾二郎
Martian canals／streets
2019年
タイル
565.0×351.8×1.5cm
作家蔵

91
岡崎 乾二郎
ひとのよはおしよせるこ
ずい、たて、あんかんとい
えにぎしてはならぬ。
れんれんとこのよにと
うりゅうをきめこむな。す
くいはしがげきりゅうに
のみこまれぬうちにいさ
ぎよくたびたて。あつ
いじんあいにおおわれた
このよに、こころをあわ
そうとはおろかなこと。
ゆれうごくのだいにあ
しをとどめてはならぬ

いこうべいきかなるかげ
もおちてないまひる、ち
かくにみずわきいで、て
んがいさながらかたどら
れたいけ、かうせるか。み
どりのくさがもえ、す
ずしげなみなも。さばく
をはしりまわったあしを
やすめ、ぎんようにあ
いたくちをとぎす。いち
わのからす、きぬのう
えにおかれたこくよう
せき。だれのためににも
ふくす2011年
釉彩セラミックタイル
360.0×360.0×1.1cm
(144枚組)
作家蔵

92
岡崎 乾二郎
いまはわたしをあらう
ときです、とみずにみ
をなげた。こんなうつく
しいひとがあざらしに
たべられてしまう、と
ひとびとはなきさけ
んだ。みをなげるとい
なずまがおり、いな
ずまをみてあざらしは
みずにうかんだ。ひの
くもがとりかこみけ
ものたちがふれるこ
ともそのはだかのすが
たをひとにみられるこ
ともなかった

はじめててんちがしゅ
つげんするよりもまえ
、まだなにももかた
ちをなしていなかった
とき、いきるものは
ただおおみずのう
えをただよっていた。
かみのことばによ
っててんちがあらわ
れてからはいきるもの
はきのうえにずっと
とどまっている、だ
からいきるものがう
ごくたびに、このき
からみずがながれで
てくるのだ2013年
釉彩セラミックタイル
360.0×360.0×1.1cm
(144枚組)
作家蔵

93
岡崎 乾二郎
ポンチ絵
2014年
色鉛筆、紙
各29.0×40.5×4.0cm
(48枚)
個人蔵、作家蔵

94
岡崎 乾二郎
蒔草と牛乳。博識と
食い意地に上下はな
い。(ひっくり返すのは
葡萄酒！)「いったい

何がしたい？」逆
さに流れる川、燃え上
がる海。鼻にラテン語
、鸚鵡からシネクド
キを教わるみたい。ゆ
えに他人の舌に耳を傾
けない。蒔草を食べ
牛乳を飲む！牛乳は甚
大な数の牡蠣の消化を
助ける。だから(海か
ら離れ)畑に見塚があ
る。

2008年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×6.8cm
憂さ晴らし、気晴らし。
人の持つ胃袋そして
良心(逆さまにすれば
、笑いの種)。「くだ
ぬことばかり！」犬に
蚤を噛ませ、牡蠣殻を
あがめ、焼鳥を空に
飛ばす。ツアラアトが
みえますか？この舌が
うまいと言うのは(ど
れもこれも)死骸です
よ！魚の死骸、鳥や牛
豚の死骸だよ。罪から
離れ(魂が離れ)、土に
近いものがうまい。

2008年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×6.8cm
作家蔵

95
岡崎 乾二郎
精神の発端／東風、紅
海に吹く2016年
アクリル、カンヴァス
22.7×15.8×3.0cm
個人蔵

96
岡崎 乾二郎
わたしの名(二人また
は三人が集うところに
わたしがいる)2015
年
アクリル、カンヴァス
20.5×15.7×2.7cm
BBar collection

97
岡崎 乾二郎
マルガリタ／外なる
すがた、内なる知恵
2019年
アクリル、カンヴァス
16.5×20.5×3.0cm
作家蔵

98
岡崎 乾二郎
アリストパネスの饒舌
／減らず口が食を減
らす2019年
アクリル、カンヴァス
18.1×16.7×3.0cm
個人蔵

99
岡崎 乾二郎
ケモノたちも天使た
ちも／屋根から出入
りする魂2019年

アクリル、カンヴァス
21.0×17.0×3.0cm
個人蔵

100
岡崎 乾二郎
タメになるってどう
いう意味？／狐の才
気2018年
アクリル、カンヴァス
16.0×18.4×2.7cm
BBar collection

101
岡崎 乾二郎
金星銀星。そのほか
無数の星屑(閃きあ
うのは空の中程)201
5年
アクリル、カンヴァス
16.0×24.5×2.9cm
BBar collection

102
岡崎 乾二郎
「あなたなら聞こ
えるでしょう。おば
さん」婦人はもの思
いにふけるかのように
おし黙っていたけれ
ど、ついに彼女は壁に
向かって大きなあ
くびをしてしまう。そ
の口を瞬間に彼女自
身の手が蓋をする。壁
には月光をあびた窓
の形がくっきりと浮
きでている。葉を落
とした木々の裸の枝
組みがかすかに揺れ
ながら、その上に影
を落とす。遠くで電
話が鳴り、壁一枚隔
てた隣室から誰かの
声が聞こえた。同時
に同じ場所のふたつ
の相反する悩みに心
が奪われているだ
ろう。自分の顔が見
えたなら、すべては理
解できるはずなの
に。「自分の名前まで
忘れちゃった。でも
、この部屋に誰が住
んでるのかは知って
るわ」

1997年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×5.0cm
「きみにはわから
ないわね。こどもだ
もの」こどもはもじ
もじしながら、しば
らく顔をうごかして
いたけれども、ふい
に視界からこどもの
姿が消えて、ちらり
とお尻が水面をよこ
ぎり、もう次の瞬間
、水中には白っぽい
影があって底に向か
って沈んでいった。
澄んだ水面に、ひと
つつぶ雨が落ちたよ
うに、幾重にも同心
円がひろがっていく
。今気づいたのだが
、奇妙なことは何と
つながった。たぶん
真夜中でも眼は見え
るのだろう。昼と夜
は分かちがたく繋が
っていたのだし、涙
でガラスが曇ってし
まっても眼鏡に隙は
ないのだから。「涙
でぜんぜん見えない
や。だから手を伸ば
し、なるべく近くの
物を掴んでみるよ」
1997年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×5.0cm
豊田市美術館蔵

103
岡崎 乾二郎

この方角がわたしにとっては、いつとはなしに生きる方角になっていたというわけだ（ぼくらが近づくと消えてなくなる水！）。衰弱していたので海までは出られない。わずかに見える地平線、光線の具合か、砂漠に反射するまぶしい光がぼくらの目を灼く。わずか一滴でも砂の底から草の芽を、緑の火花を誘い出す水。その残してきたすべてを飲み干す。

2005年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×5.0cm

北へ向って五時間歩いたら景色が変わった。なにしろできるだけ遠くまで行き（ぼくらは大股に！歩いた）何もみつからなかったら日没までに戻らなければならない。真昼に消えて夜にはまた生れるあの雲の、日中のさいごに残る積雲の影。そのひとつひとつが、水の動きと水の深さをそなえた森の茂みをあらたに作り出すのだ。見たすかぎり忙しなく。

2005年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×5.0cm
Courtesy of Blum & Poe, Los Angeles／New York／Tokyo

104
岡崎 乾二郎
喜びはなぜ私の顔を赤くするのか（恥ずかしがる事ではない）
2007年
アクリル、カンヴァス
23.0×16.0×3.5cm
作家蔵

105
岡崎 乾二郎
羽毛のように舞う脳髄／ぎゅうぎゅう詰め込まれた謎
2010年
アクリル、カンヴァス
22.7×15.8×3.0cm
個人蔵

106
岡崎 乾二郎
正午の創世記（葡萄酒の注がれた雨水）
2014年
アクリル、カンヴァス
15.9×25.6×2.8cm
個人蔵

107
岡崎 乾二郎
牧童（Gaucha）が決める／La Mano de Dios
2019年
アクリル、カンヴァス
16.3×20.2×3.0cm
個人蔵

108
岡崎 乾二郎

家の地面より上にあるところの敵い（葡萄酒の貯蔵）
2010年
アクリル、カンヴァス
16.6×18.6×3.7cm
安西一氏蔵

109
岡崎 乾二郎
もともとの場所への回帰（空の袋）
2005年
アクリル、カンヴァス
23.5×16.0×2.9cm
作家蔵

110
岡崎 乾二郎
ケモノたちも天使たちも／屋根から出入りする魂
2019年
アクリル、カンヴァス
21.0×17.0×3.0cm
個人蔵

111
岡崎 乾二郎
すっかり冷えてしまった自分のコーヒーカップに目をやった。ポットに残っているコーヒーを火にぶちまけ、その上に滓を落とす短い間にほんとうに次々いろいろなことが起こった。昔は眠れないときウィスキーを飲んだものだが、どうしても今はホットミルクだ。ミルクを温めてスプーンで表面の膜をすくいカップに注ぐ。冷めるのが待てなくても舌を火傷したりして、せっかくの幸せをぶち壊しにするわけにもいかない。空は灰色に変わり鳥が鳴きはじめている。こうやって僕は待って待って待ちつづけてきたものだ。それで？
1997年

アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×6.0cm
蓋が持ちあがって、コーヒーとその滓がポットの外に流れだす。火にかけられたコーヒーを眺めながら、アンズの缶詰をあけてブリキの皿に中身をうつす。カップにミルクを入れ、コーヒーをすこしついで冷ます。回想にふけりながらアンズの実を一個ずつ口に運んだ。眠れないとき、人はなんというんなことを、次から次へと思いつくものだろう。これだけ疲れていれば、頭の動きにも待ったがかけられたっていいはずなのに。耳元で一匹の蚊が羽音をたてた。僕は地面に膝をついて、そこにじっとしている。そういえば、
1997年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×6.0cm
個人蔵

112
岡崎 乾二郎
Animals Fleeing the Fires／oinomori／火

はどろどろパチパチ
2014年
アクリル、カンヴァス
16.7×18.2×2.8cm
作家蔵

113
岡崎 乾二郎
Battle of Lapiths and Centaurs／zarumori／むこうみず
2019年
アクリル、カンヴァス
16.0×20.5×3.0cm
作家蔵

114
岡崎 乾二郎
凧と嵐、からまる淵瀬／Where the boys are
2019年
アクリル、カンヴァス
16.2×20.5×2.9cm
個人蔵

115
岡崎 乾二郎
波打ち際での折衝（裸足であるく）
2010年
アクリル、カンヴァス
15.0×20.0×3.3cm
森雅美氏蔵

116
岡崎 乾二郎
12 マイナス 5（十二音音楽への問い）
2010年
アクリル、カンヴァス
16.0×24.5×3.2cm
安西一氏蔵

117
岡崎 乾二郎
屋根の熱気に吹きつけられ、祖父の顔は頭蓋骨のようにもう色褪せて見える。ところで彼は何といったのでしたっけ？灼熱の焼きごてを眼に入れられようとしたときに。「僕の美しいお友達、火よ。もう少しやさしくお願いします」。大丈夫。安心なさって。姉は日傘を取りにいき、祖父は指先をまるく尖った舌で冷やしていた。
2002年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×5.0cm
背後から火事が迫ってきたとでもいうの、この顔の青さは普通じゃないわ、どうしたの？ぼつりと答えます。「惜しいと思うほどの物は捉まえようと追いかけて、一生惜しんで思い出せるようにしておいたほうがいいんだよ」。そうか。胡瓜の漬け方を、老婦人から習ったときみたいに、熟した実がひとりでに落ちる音を聞いた。

2002年
アクリル、カンヴァス
180.0×130.0×5.0cm
東京国立近代美術館蔵

118
岡崎 乾二郎
Sleepy Hollow／コンネテックカットの葡萄
2018年
アクリル、カンヴァス
19.5×16.8×2.9cm
個人蔵

119
岡崎 乾二郎
くしゃみ（心を口の中に入れておく）
2010年
アクリル、カンヴァス
14.5×20.5×3.5cm
作家蔵

120
岡崎 乾二郎
水は魂にまで及び、紅海頭に被さる／ヨナと大魚
2019年
アクリル、カンヴァス
16.8×21.5×3.0cm
作家蔵

121
岡崎 乾二郎
モスケンスラウメン／到りつく涯。高波の留まるところ大魚
2019年
アクリル、カンヴァス
16.5×20.5×3.0cm
作家蔵

122
岡崎 乾二郎
淡水水産物つまりおサカナ、といっても人の放流したアユやニジマスを獲って暮らしている。水面から水の裏を見透す（背後に食客三千）。水を飲み、氷を食べる暮らしと違わない（水は凍って大きく膨らむ）、だからサカナたちから税を奪う。

2008年
アクリル、カンヴァス
91.0×72.7×5.8cm
おサカナたちは成長してゆくご自分の姿などにはお気づきにならない、だからこそは思う壺。誘いの水が水なのだから（地理には明るい）。海の下だろうと雪の中だろうと違わない（魂は舞いはじめ先へ急ぐ）、もう目覚めることもないだろう。
2008年
アクリル、カンヴァス
91.0×72.7×5.8cm
作家蔵

123

岡崎 乾二郎

千年も一日のやう／肘掛のある椅子

けふかあすかは知らぬ／完全なものの敷居

2018年

アクリル、カンヴァス

19.0×16.0×3.0cm

19.0×16.4×3.0cm

個人蔵

124

岡崎 乾二郎

Two sons of Estsanatlehi ／雷の包み、風の護符

2016年

アクリル、カンヴァス

18.0×23.0×3.0cm

個人蔵

125

岡崎 乾二郎

論理のカイソウ（海底での想起あるいは忘却）

2010年

アクリル、カンヴァス

16.3×25.0×3.5cm

作家蔵

126

岡崎 乾二郎

ハットンの主張（傾斜不整合）

2008年

アクリル、カンヴァス

16.0×25.0×2.9cm

個人蔵

127

岡崎 乾二郎

「ずいぶんと小柄だし、それに平べったい」しかしながら、その先には辿りつけない。鴨が水から（または蜜蜂は巣から）離れられない場合には何を見ているのか？ 答えは、熱帯にしながら檜の木を想像するのと似て、信仰の支えというべきもので管理されています。こうした不確実な寛容さによって、日々の疑いと絶望からわたしたちも守られている、そう彼は言うのである。

2004年

アクリル、カンヴァス

180.0×130.0×5.0cm

「なんてすべすべしているの」って、はしゃいでいる場合かしら。手に持っているバランス棒を固定されてごらんない（たとえ軽業師だって）落ちてしまうのに。極端なものから逃れるのに必要なのは、まず不機嫌さ。獲物を狙う鷹の優柔不断もまた同様。二重の作用とでもいうのかしら。生きていくうえで頼りになるのはこんな正確なる変数だけよ、彼女はそう論じました。

2004年

アクリル、カンヴァス

180.0×130.0×5.0cm

作家蔵

128

岡崎 乾二郎

河の畔、林の傍／叙景の礎

2016年

アクリル、カンヴァス

22.7×15.8×3.0cm

矢田堀良子氏蔵

129

岡崎 乾二郎

花や石（昨日と今日の差のない経験）

2010年

アクリル、カンヴァス

18.5×16.5×3.5cm

個人蔵

130

岡崎 乾二郎

私の指から没薬の液が流れる／Adonis-Anemone

2019年

アクリル、カンヴァス

18.1×16.7×3.0cm

個人蔵

131

岡崎 乾二郎

刺草とアスパラガスの茂み／不在のベリグネ

2019年

アクリル、カンヴァス

20.3×16.6×2.9cm

個人蔵

132

岡崎 乾二郎

ぶっきーさん（灰塚アースワークプロジェクトのために制作）

1997年

アクリル、顔料、紙、テープ、洗濯ばさみ

43.0×32.5×21.0cm

総領・藝術研究所蔵

133

岡崎 乾二郎

間違えもせず、手探りもしないで、まっすぐ食卓の上に手を伸ばす。それから、また壁に手を触れないで、三度跳んだら部屋の外だったが、扉を閉めるのを忘れていた。

1995年

石膏

160.0×320.0×140.0cm

作家蔵

134

岡崎 乾二郎

チウメンとひるはねむり セキミとよるはいぬ

2000年

セラミック

34.0×27.0×26.0cm

作家蔵

135

岡崎 乾二郎

Who is in front of

You you do not

Recognize, and

This moment

You know not

how to examine

2019年

インク、紙

各54.5×78.0cm（6枚組）

作家蔵

収集作品一覧

2019年度末 総点数

国内作家	2910点
国外作家	631点
合計	3541点

2019年度 購入作品

国内作家	14点
国外作家	8点

2019年度 寄贈作品

国内作家	1点
国外作家	2点

購入作品 | 国内作家 | 美術



浅野 弥衛
ASANO Yae
無題

1988年
油彩、カンヴァス
65.2×90.9cm



岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
おかちまち **b-1**

1987-2019年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm



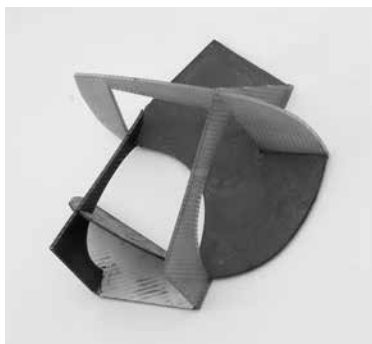
岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
おかちまち **b-2**

1987-2019年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm



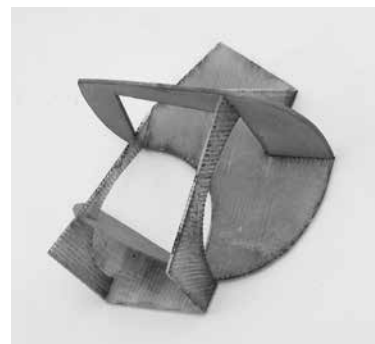
岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
おかちまち **b-3**

1987-2019年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm



岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
おかちまち **b-4**

1987-2019年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm



岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
おかちまち **b-5**

1987-2019年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm



河原 温
KAWARA On
印刷絵画 No.2 「いれずみ」

1958年
印刷、紙
76.4×51.4cm



佐藤 克久
SATO Katsuhisa
きょうことば

2016年
アクリル、カンヴァス
72.7×53.0cm



杉戸 洋
SUGITO Hiroshi
untitled

2016年
油彩、カンヴァス
44.0×52.0cm



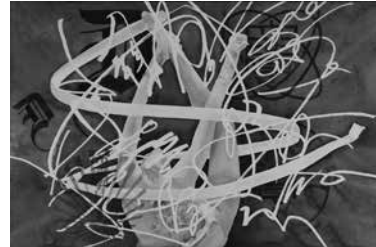
奈良 美智
NARA Yoshitomo
Mother

1987年
アクリル、ボード
37.5×27.0cm



奈良 美智
NARA Yoshitomo
Drawings

1988年
ペン、アクリル、紙
各21.0×14.5cm (7枚組)



森 千裕
MORI Chihiro
Headache (ナイン)

2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm



森 千裕
MORI Chihiro
Headache (ナイン)

2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm



森 千裕
MORI Chihiro
Toothache (サイン)

2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm



森 千裕
MORI Chihiro
Toothache (サイン)

2012年
水彩、鉛筆、紙、木製パネル
86.0×130.0cm



森 千裕
MORI Chihiro
ヘルメットフリーザー

2016年
樹脂、プラスチック製ライム、LED、ヘルメット
22.0×25.0×35.0cm



山口 啓介
YAMAGUCHI Keisuke
星花冠／紫鐘 11月

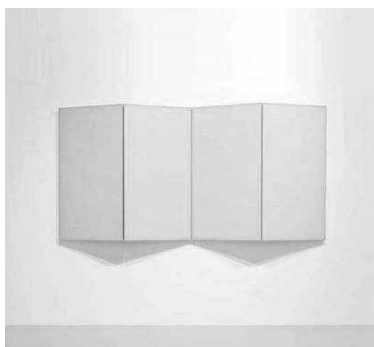
2004年
顔料、樹脂、インクジェットプリント、カンヴァス
273.0×182.0×4.5cm



横山 奈美
YOKOYAMA Nami
LOVE

2018年
油彩、麻布
182.0×227.3cm

購入作品 | 国外作家 | 美術



シャルロッテ・ポゼネンスケ
Charlotte POSENENSKE
レリーフ・シリーズB

1967/2007-14年
RAL標準色塗料、アルミニウム、支持台
各100.0×50.0×14.0cm (4点組)



モリス商会 (マートン・アビー工房)
フォード・マドックス・ブラウン
Morris&Company (Merton Abbey Workshop)
Ford Madox BROWN
コーナー・チェア

1865年頃
オーク、イグサ
70.5×42.0×43.0cm



モリス商会 (マートン・アビー工房)
フォード・マドックス・ブラウン
Morris&Company (Merton Abbey Workshop)
Ford Madox BROWN
椅子

1870-1900年
西洋トネリコ、イグサ
84.5×44.5×41.0cm



アーネスト・ウィリアム・ギムソン
Ernst William GIMSON
椅子

デザイン: 1890年代
製造: 1900年頃 (推定)
西洋トネリコ、イグサ
98.0×55.0×53.0cm



アーネスト・ウィリアム・ギムソン
Ernst William GIMSON
椅子

デザイン: 1890年代
製造: 20世紀半ば (推定)
西洋トネリコ、イグサ
105.0×47.0×39.5cm



モリス商会 (マートン・アビー工房)
フィリップ・ウェブ
Morris&Company (Merton Abbey Workshop)
Philip WEBB
サセックス・チェア

デザイン: 1860年代
製造: 1870-1900年頃
ブナ、イグサ
84.0×53.0×44.0cm



モリス商会 (マートン・アビー工房)
フィリップ・ウェブ
Morris&Company (Merton Abbey Workshop)
Philip WEBB
サセックス・チェア
デザイン: 1860年代
製造: 1870-1900年頃
ブナ、イグサ
84.0×53.0×44.0cm

寄贈作品 | 国外作家 | デザイン



作者不詳
Artist unknown
クリケット・テーブル

1800-30年頃
果樹、カバ
58.0×60.0×56.0cm



ジャン・バドヴィッチ
Jean BADOVICI
フランスの室内装飾

1925年
コロタイプ/ボショワール、手彩色
28.0×23.0cm (40枚)



モリス商会 (マートン・アビー工房)
ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ
Morris&Company (Merton Abbey Workshop)
Dante Gabriele Rossetti
ロセッティ・アームチェア

1870-90年
ブナ、イグサ
88.8×49.5×53.0cm



小堀 四郎
KOBORI Shiro
影

1927年
油彩、カンヴァス
130.5×89.8cm

作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、2020年度分のみとした。
 ※コロナウイルス感染症の影響により、会期変更もしくは臨時休館した展覧会有一些ある。

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
秋吉 風人	Rooms	アイチアートクロニクル1919-2019	2019年4月2日-6月23日
小林 耕平	1-3-1	愛知県美術館	
佐藤 克久	降る夜・こおり		
額田 宣彦	ジャングル・ジム (97-26)		
長谷川 繁	タイトル無し		
古池 大介	ディソリューション		
村瀬 恭子	Watering Place		
グスタフ・クリムト	オイゲン・アブリマフェージの肖像	クリムト ウィーンと日本 1900	2019年4月23日-7月10日
グスタフ・クリムト	眠る裸婦	東京都美術館	
グスタフ・クリムト	左向きに立つ裸婦		
グスタフ・クリムト	《ヘルミーネ・ガリアの肖像》の習作 ヴェル・サクルム (1年次1号,3号、2年次12号)		
井田 照一	Tantra No. 34, 37, 39, 66, 74, 99, 115, 140, 201, 202, 203, 209, 210, 214, 215, 218, 240, 298, 312, 343, 344, 346, 360, 370, 375, 384, 385	タイムライン 時間に触れるためのいくつかの方法 京都大学総合博物館	2019年4月24日-6月23日
ピエロ・マンゾーニ	8.01メートルの線	Piero Manzoni : Lines Hauser & Wirth New York	2019年4月25日-7月26日
イケムラレイコ	黒に舞う	LEIKO IKEMURA Toward New Seas	2019年5月11日-9月1日
イケムラレイコ	黒の中に横臥して	Kunstmuseum Basel	
イケムラレイコ	マロヤ湖のスキーヤー		
山口 啓介	炉心臓/翼のゆくえ 山水の構造 1	山口啓介 後ろむきに前に歩く 広島市現代美術館	2019年6月8日-9月4日
榎本 佳子	鷺／壺／鷺	あいちトリエンナーレ2019 情の時代 名古屋市美術館	2019年7月31日-10月14日
熊谷 守一	高原の秋	熊谷守一 いのちをみつめて	2019年8月2日-9月23日
熊谷 守一	シヂミ蝶	静岡県立美術館	2019年9月28日-11月4日
熊谷 守一	裸婦	岡山県立美術館 久留米市美術館	2019年11月16日-2020年1月13日
ミケランジェロ・ピストレット	ぼろぎれのヴィーナス	ドレス・コード?—着る人たちのゲーム	2019年8月9日-10月20日 2019年12月7日-2020年2月23日
森村 泰昌	セルフポートレイト 駒場のマリリン	京都国立近代美術館 熊本市現代美術館	
岸田 劉生	自画像	没後90年記念 岸田劉生展	2019年8月31日-10月20日 2019年11月2日-12月23日 2020年1月8日-3月1日
岸田 劉生	代々木附近	東京ステーションギャラリー	
岸田 劉生	麗子洋装之図 (青果持テル)	山口県立美術館	
岸田 劉生	鯉坊主	名古屋市美術館	

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
ビエロ・マンゾーニ	無色	描く、そして現れるー画家が彫刻を作るとき	2019年9月14日-12月8日
草間 彌生	No. AB.	DIC/川村記念美術館	
オラファー・エリアソン	グリーンランド ランプ	星とめぐる美術 10の天体がいざなう現代美術	2019年9月14日-11月18日
フランシス・ペーコン	スフィンクス	島根県立石見美術館	
ジャン・デュビュッフェ	存在の漏出		
マン・レイ	セルフ・ポートレイト		
アントン・ヨーゼフ・トリチカ	セルフ・ポートレイト		
荒木 経惟	センチメンタルな旅		
イケムラレイコ	黒に浮かぶ		
杉戸 洋	untitled		
杉戸 洋	untitled		
福田 美蘭	大根おろし		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅰ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅱ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅲ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅳ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅴ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅵ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅶ		
若林 奮	立体ノートー気体・固体・液体・現在Ⅷ		
李 禹煥	照応		
ジャン・アルブ	灰色の上の黒い形態の星座		
ジャン・アルブ	ひと、ひげ、へそ		
ミヤギフトシ	花の名前		
ジェームズ・アンソール	愛の園		
エドヴァルト・ムンク	接吻		
エドヴァルト・ムンク	魅惑Ⅰ		
白髪 一雄	無題		
プリンキー・パレルモ	無題（セロニアス・モンクに捧げる）		
高松 次郎	板の単体（赤）		
高松 次郎	板の単体（黒）		
高松 次郎	板の単体（青）		
村瀬 恭子	White Coat		
村瀬 恭子	Watering Place		
村瀬 恭子	Flowery Planet		
ローマン・オバルカ	オバルカ 1965/1-∞ ディテイル 2601104-2626001		
ローマン・オバルカ	オバルカ 1965/1-∞ ディテイル 3395602-3411010		
ローマン・オバルカ	オバルカ 1965/1-∞ ディテイル 4968512-4988005		
ダニエル・ビュレン	そのとき、その場所のまさに真ん中で起こる フレームの中のフレームの中のフレーム#42		
諏訪 直樹	THE ALPHA AND THE OMEGA F-1・ THE ALPHAAND THE OMEGA F-2		
ルネ・マグリット	無謀な企て		
マックス・エルンスト	子供、馬そして蛇		
ボリス・ミハイロフ	イエスタデイズ・サンドイッチ 5		
小池 隆英	無題		

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
村上 友晴	無題		
ライアン・ガンダー	おかあさんに心配しないでとって (6)		
丸山 直文	breeze of river 2		
塩田 千春	不在との対話		
ルーチョ・フォンターナ	空間概念		
福田 美蘭	冬-供花		
小堀 四郎	谷中風景	小堀四郎洋画展	
小堀 四郎	イタリアの少年	松村外次郎記念庄川美術館	2019年10月12日-11月10日
小堀 四郎	修道士の顔		
小堀 四郎	レンブラント作《ベッサベ・オー・バン》 の模写		
小堀 四郎	トリエにて		
小堀 四郎	フェスの門 (モロッコ)		
小堀 四郎	黄衣の女		
小堀 四郎	桃		
小堀 四郎	中勘助像		
小堀 四郎	老人像		
小堀 四郎	早春 (柿生)		
小堀 四郎	鶴川風景 (ひぐらし)		
小堀 四郎	冬の花束		
小堀 四郎	高原の夕陽		
小堀 四郎	妻の像		
小堀 四郎	小梨と藤		
小堀 四郎	星と雲		
小堀 四郎	大慈大悲		
小堀 四郎	桃子像		
小堀 四郎	高原の星夜		
小堀 四郎	不動明王		
小堀 四郎	恐山の巫女		
小堀 四郎	赫光		
小堀 四郎	御陣乗太鼓		
小堀 四郎	生命の神秘 (伊東の大楠)		
小堀 四郎	雪の花		
小堀 四郎	二人で歩いた厳しい道		
小堀 四郎	滝・動中静 (命の振源)		
クリストファー・ドレッサー	シュガー・ボウル	クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物 郡山市立美術館	2019年11月16日-2020年1月26日
マックス・エルンスト	子供、馬そして蛇	シュルレアリスムと絵画ーダリ、エルンストと日本の「シュール」 ポーラ美術館	2019年12月15日-2020年4月5日 ※4月3日で終了
白髪 一雄	無題	白髪一雄展	
白髪 一雄	無題	東京オペラシティ アートギャラリー	2020年1月11日-3月22日 ※2月28日で終了

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
黒田 辰秋	朱漆振紐文火鉢	木工芸 黒田辰秋が集めたもの－黒田家寄贈資料展－	
黒田 辰秋	拭漆櫛家具セット	豊田市民芸館	2020年3月17日-5月24日
黒田 辰秋	乾漆耀貝螺鈿捻十稜水指		※4月11日-5月18日は臨時休館
黒田 辰秋	耀貝螺鈿總張飾手篋		
黒田 辰秋	薦金輪寺茶器		

1 講演会、シンポジウム

■ 常設特別展「リニューアルオープン記念コレクション展 世界を開くのは誰だ？」

記念イベント「谷口吉生－美術館を語る」

出演：谷口吉生（建築家）

聞き手：村田真宏（豊田市美術館館長）

日時：6月15日[土]午後2時－4時

会場：講堂

参加人数：164人

■ 企画展「クリムト展 ウィーンと日本1900」

講演会1「クリムト：その人生と芸術」

講師：フランツ・スモラ（ベルヴェデーレ宮オーストリア絵画館学芸員）

日時：7月23日[火]午後2時－3時30分

会場：講堂

参加人数：150人

■ 企画展「クリムト展 ウィーンと日本1900」

講演会2「ウィーンの聖なる春：クリムトの人と作品」

講師：千足伸行（美術評論家 広島県立美術館館長）

日時：9月1日[日]午後2時－3時30分

会場：講堂

参加人数：150人

■ 企画展「クリムト展 ウィーンと日本1900」

シンポジウム「クリムトとその時代」

登壇者：藤井たぎる、西川智之（名古屋大学大学院人文学研究科教授）

山口庸子、北村陽子、古田香織（名古屋大学大学院人文学研究科准教授）

前田朋美（中部大学非常勤講師）

角山朋子（南山大学外国語学部講師）

日時：9月23日[日]午後1時30分－3時30分

会場：講堂

参加人数：76人

■ 企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

講演会

講師：岡崎乾二郎（出品作家）

日時：12月22日[日]午後2時－4時30分

会場：講堂

参加人数：164人



■ 企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

対談

講師：岡崎乾二郎（出品作家）

斎藤環（精神科医・筑波大学社会精神保健学教授）

日時：1月13日[月・祝]午後2時－4時

会場：講堂

参加人数：160人

■ 企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

講演会「旅について」

講師：岡崎乾二郎（出品作家）

日時：2月9日[日]午後2時－4時30分

会場：講堂

参加人数：160人

■ 企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

シンポジウム「展覧会カタログ執筆者によるシンポジウム」

登壇者：岡田温司（美術史家、京都大学大学院教授）

林道郎（美術史家、美術批評家、上智大学国際教養学部教授）

松浦寿夫（画家、美術史家、武蔵野美術大学教授）

日時：2月15日[土]午後2時－4時

会場：講堂

参加人数：125人

■ 企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

シンポジウム「『視覚のカイソウ』クロージングシンポジウム」

登壇者：アズビー・ブラウン（建築家、美術作家）

アンドリュー・マークル（ライター、編集者）

池田剛介（美術作家）

日時：2月24日[月・祝]午後1時30分－3時30分

会場：講堂

＊新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ

講座

■ 春の漆講座

「漆塗体験－蒔絵に挑戦！」

主催：（公財）高橋記念美術文化振興財団

講師：萩原佳奈（漆芸家）

日時：2月16日[日]①午前10時30分－12時30分

②午後2時30分－4時30分

会場：ワークショップルーム

対象：小学4年生以上

参加費：1人3,000円（皿とフォーク各1点）

参加人数：39人

解説会、ギャラリートーク

■ 常設特別展「リニューアルオープン記念コレクション展 世界を開くのは誰だ？」

学芸員によるギャラリートーク

日時：①6月22日[土]、②6月29日[土]

午後3時－

参加人数：①38人、②45人

■ 企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

学芸員によるギャラリートーク

日時：①1月5日[日]、②26日[日]、③2月16日[日]

午後2時－

参加人数：①60人、②80人、③90人

3 コンサート、映画上映会、パフォーマンス等

コンサート

■ 企画展「クリムト展 ウィーンと日本1900」

記念トーク&コンサート「ウィーンの楽しみ方・絵画と音楽」

主催：（公財）高橋記念美術文化振興財団

トーク：西田兼（島根大学准教授）

ピアノ：綾クレバーン

日時：7月27日[土]午後2時－3時30分

会場：講堂

参加人数：159人

■ 美術館コンサート「聴覚のカシカ」

主催：（公財）高橋記念美術文化振興財団

出演：水野修平ビッグバンド

日時：2月23日[日]午後2時～3時
会場：講堂
＊新型コロナウイルス感染症の影響により中止

映画上映

Ⅰ 企画展「岡崎乾二郎ー視覚のカイソウ」
「回想のヴィトゲンシュタイン」(1988年制作、上映
時間：1時間)
日時：2月14日[金]～24日[月・祝]午後2時～、午後
4時～(15日を除く、16日は午後4時～)

4 | アウトリーチ活動

ふらっと美術館

Ⅰ 「豊田市美術館の楽しみ方」
講師：能勢陽子
日時：4月17日[水]午後6時～7時30分
会場：T-FACE
参加人数：21人

Ⅰ 「豊田にクリムトがやってくる・・・クリムトって
誰？」
講師：西崎紀衣
日時：5月15日[水]午後6時～7時30分
会場：T-FACE
参加人数：44人

5 | ミュージアムフェスタ

Ⅰ ミュージアムフェスタ美術館コンサート「晩秋に聴く
ピアノの調べ」
主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団
出演：岡田将
日時：11月23日[土]午後1時～2時
会場：講堂
参加人数：85人

Ⅰ 写生大会
主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団
協力：愛知県立芸術大学
日時：11月24日[日]午前10時～午後3時
会場：庭園
参加人数：72人

6 | 庭園活用事業

美術館庭園を活用し、美術館への来館促進及びにぎわ
いの創出を目的に平成27年(2015年)秋から実施

Ⅰ お庭でマルシェ
日時：①6月1日[土]～2日[日] 午前10時～午後5時
(5日間)
②11月23日[土]～24日[日] 午前10時～午後5時(2
日間)
会場：庭園
参加人数：①5,348人、②5,156人 合計12,514人
出店数：①のべ57店、②のべ63店
共催：豊田市中心市街地活性化協議会
運営：一般社団法人TCCM

7 | 作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくこと
を目的に平成8年より活動を開始。
令和2年4月現在、32名が登録。

ギャラリーツアー

内容：来館者との対話を交えながら、企画展／常設
展の展示作品についてのギャラリーツアーを行った。
定時：毎日(木曜日を除く)
午後2時～(関連事業開催日は午前11時～)
土・日・祝日は午前11時～と午後2時～の2回開催
団体：団体からの事前予約によるツアー

定時	活動回数	178
	参加人数	1,638
団体	件数	27
	参加人数	932
参加者数合計		2,570

※2020年3月20日以降は新型コロナウイルス感染症
の影響によりツアーを行わなかった。

現代美術の鑑賞入門

作品をじっくり読み解くギャラリートーク

内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、
ひとつの作品を30～40分かけて鑑賞するプログラム。
各回午後1時～

日にち	トーカー	作 品	参加人数
6月9日	松葉	岡崎乾二郎絵画作品	41
6月23日	戸田	マリオ・メルツ《廃棄され る新聞、自然、蝸牛の体の うちに、空間の力として継 起する螺旋がある》	42
6月29日	舟見	日高理恵子《樹を見上げ てI》	39
8月10日	岡野	岸田劉生《横臥裸婦》	22
8月17日	荒川	エゴン・シーレ《カール・グ リュンヴァルトの肖像》	37
9月8日	吉田	下村観山《美人と舍利》	34
9月28日	角田	ブランクーシ3点	45
10月6日	小林	ブランクーシ3点	17
12月14日	岡崎	李 禹煥《風より》	13
10月21日	小野	速水御舟《菊に猫》	26
1月19日	喜田	櫃田伸也《通り過ぎた風 景(山々)》	34
1月26日	加藤	岡崎乾二郎絵画作品	38
2月16日	小森	岡崎乾二郎立体作品	32
合計			420



特別研修会「クリムト勉強会」

講師：西田兼(島根大学准教授)
日時：7月13日[土] 午後1時～5時、7月14日[日] 午
前10時～午後4時
会場：会議室
参加人数：計48人

8 | 出版、ビデオ制作

出版、印刷物

『紀要 No.12』
『年報(令和元年度版)』
『配布用ギャラリーガイド』
企画展、テーマ展、常設展に関する出版／印刷物は、
各展覧会の掲載ページを参照のこと。

ビデオ制作

「常設特別展『リニューアルオープン記念コレクション展
世界を開くのは誰だ?』」

記録ビデオ 15分

企画展「クリムト展 ウィーンと日本1900」

記録ビデオ 15分

企画展「岡崎乾二郎－視覚のカイソウ」

記録ビデオ 15分

9 | 小・中学校美術館学習

■中学生／美術館見学学習

心に残る記念事業（コンサート）にあわせて希望校の3
年生が来館した。

来館日	学校名	人数
8月20日	豊田市立稲武中学校	17
8月21日	豊田市立足助中学校	60
8月21日	豊田市立藤岡中学校	85
8月22日	豊田市立旭中学校	18
合計		180

■その他／授業・部活動等での見学

来館日	学校名	人数
6月14日	刈谷市立富士松中学校	9
6月14日	豊田市立童子山小学校6年生	108
6月30日	豊明市立栄中学校美術部	14
7月23日	東郷町立春木中学校	22
7月25日	名古屋市立日比津中学校	13
7月27日	浜松市立都田中学校美術部	20
7月30日	豊田市立朝日丘中学校美術部	40
7月30日	豊明市立沓掛中学校	26
7月31日	東浦町立北部中学校	9
7月31日	瀬戸市立水野中学校美術部	16
8月2日	豊橋市立豊岡中学校美術部	17
8月6日	輪之内町立輪之内中学校美術部	36
8月8日	豊田市立猿投台中学校美術部	21
8月8日	安城市立安城西中学校	11
8月8日	岡崎市立北中学校芸術文化部	27
8月9日	みよし市立北中学校	24
8月9日	東近江市立聖徳中学校美術部	32
8月29日	豊川市立南部中学校	25
8月30日	東郷町立東郷中学校	8
9月13日	豊田市立花山小学校	18
10月8日	豊田市立童子山小学校2年生	32
12月6日	名古屋市立宮根小学校	83
12月3日	豊田市立朝日丘中学校特別支援学級	12
12月24日	名古屋市立当知中学生	22
1月25日	大治町立大治中学校	37
2月21日	幸田町立幸田小学校	41
2月19日	豊田高等特別支援学校	12
2月7日	愛知県立南山国際中学校	42
合計		777

10 | 研修会

来館日	団 体 名	人数
8月9日	豊田市教育研究会図工・美術部会	50
8月27日	豊田市交流館主事研修会	14

11 | 博物館実習

実習生：14名（12大学）

実習期間：8月27日〔火〕－31日〔土〕計5日間

カリキュラム：

	実習内容
1日目	オリエンテーション
	美術館の役割
	館内の施設・設備／管理運営について
2日目	作品収集の意義
	あいちトリエンナーレについて
	展覧会の企画から実施まで
3日目	教育普及活動について
	ボランティアによるギャラリートーク体験
	調査・研究活動について
4日目	作品の管理・保存
	作品資料調査、調書作成
5日目	実習のまとめ～感想ならびに意見交換

利用実績

1 | 観覧者数

(人)

年	月	企画展			常設特別展・常設展			高橋節郎館			合計		
		日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
1	6	26	-	-	26	15,240	586	26	4,808	185	26	20,048	771
	7	8	15,017	1,877	8	3,231	404	8	5,310	664	8	23,558	2,945
	8	28	64,813	2,315	28	16,648	595	28	18,867	674	28	100,328	3,583
	9	27	74,125	2,745	27	17,440	646	27	19,924	738	27	111,489	4,129
	10	12	47,039	3,920	12	9,133	761	12	10,769	897	12	66,941	5,578
	11	7	1,208	173	7	1,171	167	7	586	84	7	2,965	424
	12	23	2,804	122	23	2,499	109	23	1,212	53	23	6,515	283
2	1	24	4,415	184	24	3,767	157	24	1,618	67	24	9,800	408
	2	21	6,366	303	21	5,208	248	21	2,062	98	21	13,636	649
	3	10	1,656	166	10	1,715	172	10	712	71	10	4,083	408
合計		186	217,443	1,169	186	76,052	409	186	65,868	354	186	359,363	1,932

2 | ギャラリー利用状況

※美術館利用分除く

開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数
6月4日(火)～6月9日(日)	5	日本字手紙協会豊田支部 15周年記念展	800
6月11日(火)～6月16日(日)	6	第17回ラヴァレー豊田展	782
6月18日(火)～6月23日(日)	5	第19回G A M展	760
6月25日(火)～6月30日(日)	6	キルトハーツ35th パッチワークキルト展	891
11月26日(火)～12月8日(日)	8	第22回豊田市障がい者作品展	1,426
12月10日(火)～12月15日(日)	6	第12回創造の仲間たち展	562
12月17日(火)～12月22日(日)	6	第30回文化振興財団写真部作品展	475
1月14日(火)～1月26日(日)	10	月と家 土屋公雄×森北伸 二人展	937
2月11日(火)～2月16日(日)	6	HELL THE TRIP Vol. II	871
3月24日(火)～3月29日(日)	6	木目透かし彫 吉祥彫 長藤洸旺展	648
3月31日(火)～4月5日(日)	6	水野博子自選展	88
合計	70		8,240

※開催期間は、利用許可上の日数、開催日数は実際の開催日数で記載

※水野博子自選展については、3月31日分のみの入場者数

3 | ライブラリー利用状況

(人)

年	月	利用人数
31	4	0
1	5	0
	6	1,053
	7	732
	8	2,300
	9	1,503
	10	774
	11	194
	12	234
2	1	357
	2	579
	3	139
合計		7,865
1日平均		42

4 | レストラン等付属施設利用状況

(人)

年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	その他施設	合計
31	4	0	0	0	342	0	342
1	5	0	0	0	408	140	548
	6	26	3,021	2,051	1,452	6,144	12,668
	7	8	1,410	2,125	1,297	696	5,528
	8	28	5,635	8,259	3,657	1,136	18,687
	9	27	5,522	10,431	5,330	861	22,144
	10	12	2,492	6,422	3,022	1,334	13,270
	11	7	317	284	1,255	5,276	7,132
	12	23	1,138	670	858	443	3,109
2	1	24	1,485	1,180	957	165	3,787
	2	21	1,992	1,728	767	609	5,096
	3	10	497	340	346	0	1,183
合計		186	23,509	33,490	19,691	16,804	93,494

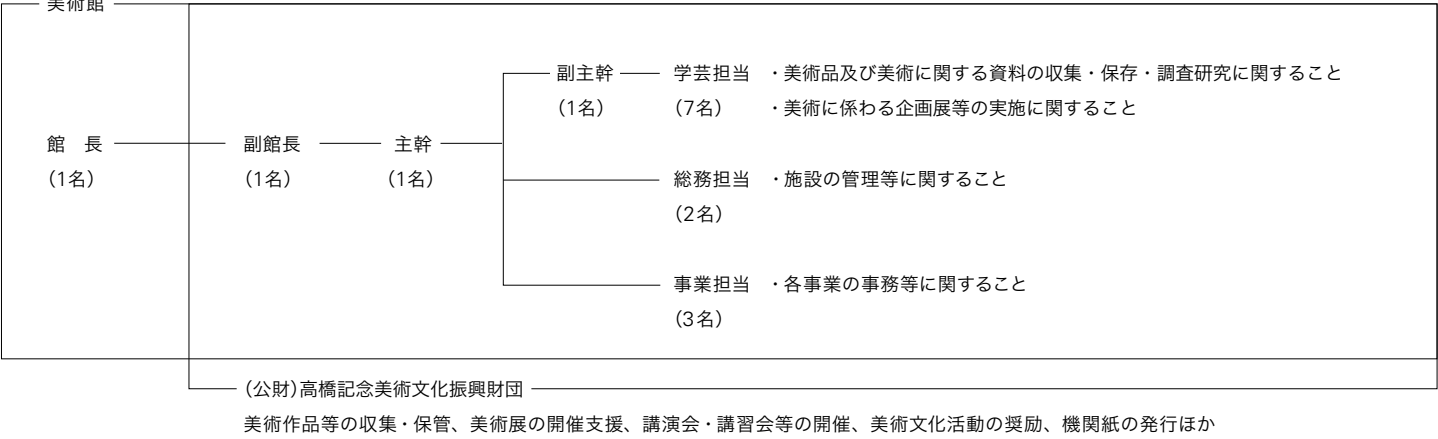
※その他施設：ワークショップルーム、講堂、又日亭、七州城、庭園

※茶室童子苑は、立礼席利用者と茶室利用者の合計

※平成30年7月17日～令和元年5月31日 改修工事による休館で、茶室のみ貸出

組織

1 | 組織図 ※令和2年4月1日現在



※美術館の分掌事務

- ・美術館の運営管理に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ・美術に関する展覧会等の事業の実施に関すること
- ・美術に係る調査研究に関すること
- ・美術の啓発に関すること

※ (公財)高橋記念美術文化振興財団は、事務局を豊田市美術館内に置き、美術館職員がその事務事業を兼務する

2 | 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及啓発、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ①委員 10名
- ②開催日 令和元年 7月 30日（火）
令和2年 1月 31日（金）

3 | 美術品収集委員会

浅野弥衛作「無題」はじめ22件の美術品購入と3件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、全ての案件が可決されました。

- ①委員 6名
- ②開催日 令和元年 8月 31日（土）

4 | 作品ガイドボランティア

毎日（木曜日を除く）午後2時から（土・日・祝日は午前11時からもあり）、来館者と対話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリートークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応をしました。

- ①発足 平成9年7月
- ②登録人数 32人 ※令和2年4月1日現在
- ③活動内容 ・常設展、企画展でのギャラリートツアー
・美術館学習のための事前出張授業
・団体来館者への作品解説 など

関係法規

■ 豊田市美術館条例

平成7年3月31日

条例第1号

趣旨

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館（以下「美術館」という。）を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、市長が必要と認めた事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

利用の許可

第5条 別表第2に掲げる施設（以下「施設」という。）を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等（以下「美術品等の利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

3 市長は、美術館の管理上必要があると認めたときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。

- (1) 利用目的に違反すると認めたとき。
- (2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めたとき。
- (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。
- (4) その他管理上支障があると認めたとき。

許可の取消し等

第7条 市長は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めたときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこれに基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 許可に付された条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

2 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条 利用者（第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。）は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条 市長は、特別の事由があると認めたときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転賃してはならない。

設備の承認及び原状回復

第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。

3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条 市長は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

美術館運営協議会

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 地域との連携に資する活動を行う者
- (6) 公募による市民（市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。）

4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委任

第16条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附則

施行期日

1 この条例は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

附則（令和元年12月24日条例第57号抄）

施行期日

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

経過措置

11 この条例の施行前に附則第2項から前項までの規定による改正前のそれぞれの条例の規定により教育委員会がした許可その他の行為は、改正後のそれぞれの条例の相当規定に基づいて市長がした許可その他の行為とみなす。

別表第1（第4条関係）

豊田市美術館観覧料

区分		観覧料(円)(1人1回につき)		年間観覧料 (1人につき)
		個人	20人以上の団体	
常設展示	一般	300	250	5,000円以内で市長 が定める額
	大学生又は高校生	200	150	
常設特別展示		2,000円以内でその都度 市長が定める額		
企画展示				

備考

- 1 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 2 「年間観覧料」とは、当該観覧料を納付した日の翌日から起算して1年を経過する日の属する月の末日までの間、同一人が回数について制限を受けることなく観覧することができる観覧料をいう。
- 3 前項に規定する期間に美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間がかかる場合は、同項中「1年」とあるのは、「美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間の月数（当該期間に1月未満の端数がある場合は、これを1月に切り上げるものとする。）を1年に加算した期間」とする。

別表第2（第5条、第8条関係）

豊田市美術館使用料

1 ギャラリー使用料

区分	利用目的	単位	使用料（円）
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2 茶室使用料

区分	利用目的	使用料（円）		
		午前 （9:00～13:00）	午後 （13:00～17:00）	夜間 （17:00～21:00）
一步亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

■ 豊田市美術館管理規則

平成7年9月29日

教育委員会規則第8号

趣旨

第1条 この規則は、豊田市美術館条例（平成7年条例第1号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、豊田市美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

開館時間及び休館日

第2条 美術館の開館時間及び休館日は、次の表のとおりとする。

区分	開館時間	休 館 日
美術館 （茶室を除く。）	午前10時から 午後5時30分 まで	(1)月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。） (2)12月28日から翌年1月4日まで (3)美術品等（条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の展示替えの作業を行う日として市長があらかじめ定める日
茶室	午前9時から 午後9時まで	(1)月曜日（休日に当たる日を除く。） (2)12月28日から翌年1月4日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等の展示会場（以下「展示会場」という。）へ入場できる時間（次項において「入場時間」という。）は、午前10時から午後5時までとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、市長は、特に必要があると認めたときは、臨時に開館時間、休館日及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条 市長は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

観覧券の提示

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用の許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。

2 条例第5条第2項の規定により美術品等の利用の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

- (1) 美術品等を利用する者の氏名及び住所
- (2) 利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
- (3) 美術品等の利用目的
- (4) 美術品等の利用日時
- (5) その他市長が必要と認める事項

3 前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。ただし、市長がその必要がないと認めるときは、この限りでない。

4 第1項及び第2項の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、これらの

項に規定する申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条 市長は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書（様式第2号。以下「許可書」という。）を申請者に交付する。

利用期間

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間（以下「利用期間」という。）は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用するときその他市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条 利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書（様式第3号）に許可書を添えて市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書（様式第4号。以下「変更許可書」という。）を利用者に交付する。

3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用の許可の取消し

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書（様式第5号）に許可書又は変更許可書を添えて、市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書（様式第6号）を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(2) 次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

イ 市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

(3) 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳

イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

ウ 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳

エ 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳

(4) 市内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 高齢者の医療の確保に関する法律施行規則（平成19年厚生労働省令第129号）

第17条第1項に規定する被保険者証

イ 市が実施する母子・父子家庭医療費の助成事業において当該母子・父子家庭医療費の受給者に交付する受給者証

(5) 美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 常設展示の観覧料の全額

(6) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用する場合 使用料の全額

(7) その他市長が特別の事由があると認めた場合 その都度市長が定める額

2 前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第7号）を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第8号）を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

3 市長は、観覧料の減免を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第9号）を、使用料の減免を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第10号）を交付する。

優待券等

第11条 市長は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

第13条 利用者は、施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかなければならない。

事前打合せ

第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

第15条 利用者は、施設又は美術品等の利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

第16条 利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 利用の許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。

(2) 次条各号に規定する行為をしないこと。

(3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。

(4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を及ぼし、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。

(5) 係員の指示に従うこと。

入館者の禁止事項

第17条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。
- (2) ライブラリーの図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。
- (3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。
- (4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
- (5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。
- (6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をすること。
- (7) その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

美術館運営協議会の会長

第18条 豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に会長を置き、委員の互選によりこれを定める

2 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

第19条 運営協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

- 2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

委任

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附則

施行期日

- 1 この規則は、令和2年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

経過措置

2 施行日前に施行日以後の利用等についてなされた廃止前の豊田市美術館管理規則（平成7年教育委員会規則第8号）の規定に基づく利用の許可の申請その他の行為は、この規則の相当規定に基づく利用の許可の申請その他の行為とみなす。

準備行為

- 3 この規則の規定に基づく利用の許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分		期間
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から同月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から同月30日までの間
		利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から同月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から同月31日までの間
	茶室	利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用		利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料の還付の基準

区分	還付率
災害その他観覧料(年間観覧料を除く。)を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

使用料の還付の基準

区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90%
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60%
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30%
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

沿革

昭和	54 (1979)年	7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
	59 (1984)年	3月	第4次豊田市総合計画 (1984 - 1990)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成	2 (1990)年	4月	(仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
	3 (1991)年	3月	(仮称)豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
		4月	(仮称)豊田市美術館美術品収集委員会 (平成6年8月に同選定委員会に改称)を設置
		9月	(仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
	4 (1992)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
	5 (1993)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
		6月	建設工事着工
		10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
	6 (1994)年	6月	デトロイト美術館との友好交流提携に調印
	7 (1995)年	3月	豊田市美術館条例公布
		6月	建設工事竣工
		11月	豊田市美術館開館
	8 (1996)年	7月	観覧者10万人達成
		11月	豊田市都市景観賞 (主催：豊田市)
		12月	サインデザイン準優秀賞 (主催：(社)日本サインデザイン協会)
	9 (1997)年	11月	観覧者20万人達成
		11月	建築業協会賞 (主催：建築業協会)
	10 (1998)年	2月	愛知まちなみ建築賞 (主催：愛知県)
		4月	博物館登録
		12月	中部建築賞 (主催：中部建築賞協議会)
	11 (1999)年	5月	観覧者30万人達成
	12 (2000)年	11月	公共建築賞 (主催：(社)公共建築協会)
	13 (2001)年	1月	観覧者40万人達成
		12月	サインデザイン準優秀賞 (主催：(社)日本サインデザイン協会)
		12月	印刷出版研究所奨励賞 (主催：印刷出版研究所)
	14 (2002)年	3月	豊田市美術館モニターを設置
		4月	豊田市美術館運営協議会を設置
		10月	グッドデザイン賞 (主催：(財)日本産業デザイン振興会)
		12月	サインデザイン優秀賞 (主催：(社)日本サインデザイン協会)
	15 (2003)年	1月	観覧者50万人達成
	16 (2004)年	6月	観覧者60万人達成
		9月	豊田市美術館評価専門委員会を設置
	17 (2005)年	11月	開館10周年記念事業
		12月	観覧者70万人達成
	19 (2007)年	7月	観覧者80万人達成
	22 (2010)年	12月	観覧者100万人達成
	26 (2014)年	9月	バリアフリー化等改修工事による休館 (- 27年10月)
	27 (2015)年	10月	リニューアルオープン
			開館20周年記念事業 (- 28年6月)
	29 (2017)年	1月	観覧者200万人達成
	30 (2018)年	7月	LED化等改修工事による休館 (- 令和元年5月)
令和	1 (2019)年	6月	リニューアルオープン

豊田市美術館 年報 No.24 (令和元年度)

発行：2020年6月

編集・発行：豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel.0565-34-6610

印刷・製作：東名印刷株式会社

